

# 茗溪



夏

2019

令和元年

no.1102

## 目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 一般社団法人 茗溪会第8回定時総会 …… 03 ～ 09
- 茗溪・筑波産業人倶楽部「就活相談会」 …… 10 ～ 15
- 令和元年 暑中お見舞い申し上げます …… 16
- 筑波大学はいま …… 17
- 公開講座「つくばとオリンピック」要約 …… 18 ～ 19
- 茗溪・東西南北 …… 20 ～ 21
- 桐の葉のつどい …… 22 ～ 23
- 茗溪学園だより …… 24
- 追悼録 …… 25
- 令和元年春の叙勲おめでとうございます …… 26
- 広報 …… 26
- 表紙のことば …… 26
- 編集後記 …… 26



復旧中の熊本城（撮影：熊本茗溪会 田口智之）

**Juchheim**  
SEIT 1909

日本のバウムクーヘンの歴史は  
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。  
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは  
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

www.juchheim.co.jp/juchheim  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

**ユーハイム®**

ハローハイム  
お客様係 TEL 0120-860816  
受付時間：平日(月～金)9:30～17:00(年末年始を除く)  
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

## 食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /  
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。  
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



### 学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。  
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、  
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。  
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。  
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの  
サポートも可能です。

### 寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者様の年齢層に応じたメニューを  
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、  
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を  
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること  
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理  
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことすべて  
**SHIDAX**

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード  
TEL.03-6632-5052 (代表)

**KAIT**

# 力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。



### ■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)  
電気電子情報工学科  
応用化学科  
臨床工学科(臨床工学技士養成課程)※

### ■創造工学部

自動車システム開発工学科  
ロボット・メカトロニクス学科  
ホームエレクトロニクス開発学科

### ■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科  
栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]※

### ■情報学部

情報工学科  
情報ネットワーク・コミュニケーション学科  
情報メディア学科

### ■看護学部

看護学科[看護師養成課程]※

※2020年度に新学部への再編を構想中

常務理事 河野 隆二(S47農)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(神奈川茗溪会会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



**神奈川工科大学**  
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

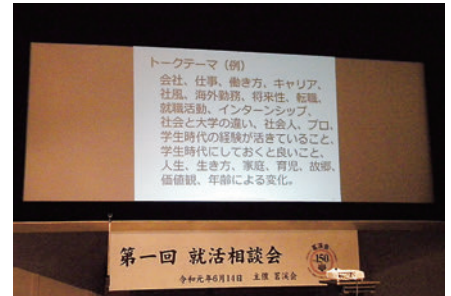
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030  
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

# 茗溪・筑波産業人会 第1回就活相談会

(P.10～15 参照)



OB・OG（講師）の打合せ



相談会全景



一般社団法人 茗溪会 第8回 定時総会  
令和元年5月23日(木) 茗溪会館にて  
(P.3~9参照)



佐藤副学長  
(学長代理)



江田理事長



ブロック別懇談の会状況



一般社団法人

# 茗溪会 第8回 定時総会

令和元年5月23日(木) 茗溪会館にて

## 定時総会出席代議員一覧

(敬称略)

筑波大	本谷	聡	千	葉	植	草	完	富	山	神	田	聡	和	歌	山	土	肥	二	郎
北海道	大沼	寛	千	葉	猿	渡	末	石	川	濱	辺	正	鳥	取	小	倉	健	一	
北海道	川口	淳	東	京	中	村	穎	静	岡	熊	野	善	島	根	野	々	村	卓	
青森	前田	濟	東	京	柳	久	美	静	岡	齊	藤	浩	岡	山	長	尾	隆	史	
岩手	佐藤	有	東	京	竹	村	恭	静	岡	綾	部	信	山	口	吉	本	晃	晃	
宮城	齊	隆	東	京	渡	邊	悟	愛	知	村	松	利	德	島	小	原	史	明	
秋田	木浪	恒	東	京	三	橋	浩	愛	知	竹	下	裕	香	川	山	本	主	税	
山形	津田	二	神	奈	佐	々	悦	愛	知	高	畑	尚	愛	媛	八	木	俊	博	
福島	大沼	博	神	奈	本	木	幹	岐	阜	大	橋	則	高	知	田	頭	克	文	
茨城	仙波	操	神	奈	山	崎	紀	三	重	岡	村	芳	福	岡	永	沼	真	紀	
茨城	鈴木	一	神	奈	大	畑	多	滋	賀	脇	坂	高	長	崎	渡	邊	孝	経	
茨城	中島	博	神	奈	大	石	進	京	都	川	合	英	熊	本	赤	星	隆	弘	
栃木	若杉	俊	山	梨	金	塚	正	大	阪	松	本	秀	鹿	児	二	石	政	彦	
群馬	丸橋	明	長	野	竹	村	和	大	阪	岡	村	多	沖	縄	前	門	晃	晃	
埼玉	奥谷	多	長	野	田	澤	直	兵	庫	中	野	憲							
埼玉	矢嶋	章	新	湯	小	野	寺	奈	良	松	田	勝							

一般社団法人茗溪会  
第8回 令和元年度 定時総会

# 挨拶 (要旨)

一般社団法人 茗溪会  
理事長 江田 昌 佑



本日、一般社団法人茗溪会総会を開催いたしましたところ、ご多忙の中、全国各地からご参集いただき誠に有り難うございます。日頃、代議員の皆様には、地域組織等の茗溪会活動にご尽力賜り心から敬意と感謝を申し上げます。

本日の総会は、新しい元号・令和の最初の総会になります。茗溪会は明治草創の時代から大正、昭和、平成とその活動の歩みを絶やすことなく令和に伝承してきました。誠に敬服し、また誇りとするところであり、茗溪人にとって感慨深いものがございます。

ここ数ヶ月の間に、改元に続き、天皇陛下のご退位、新天皇のご即位等々がございました。スポーツの世界では、9月にラグビー第9回W杯日本大会が開催。東京五輪・パラリンピックなどもあと500日を切りました。

只今、NHK大河ドラマ「いだてん」が人気を呼んでいます。私達にとって縁の深い嘉納治五郎先生、金栗四三さん、野口源三郎さんや当時の東京高師の様子的一端などを窺い知ることができて親近感が一層増してきました。昨年の総会及び正月号会報等でお知らせやお願いをしました三つの事業につきましては、引き続き実施に移し、本年からは更に強力に推進して参る所存です。すなわち、

- 茗溪創基150年記念事業の企画・実施の推進
- 茗溪・筑波産業人倶楽部の定着、発展と展開

○財政健全化活動の強力展開  
昨年からの本事業の進捗概況と今後の予定の概略を報告しておきます。

1 茗溪創基150年記念事業(以下「150年記念事業」)の前の倒し事業「占春園再生プロジェクト」について(季刊誌本件プロジェクト報告を参照)

内外の多くの機関との折衝や関係者の熱意あるご尽力ご協力を経て、計画した落英池のかいぼりなどの施工事業等はお陰様で6月末で完了の運びとなりました。明確であった占春園の由来などを「占春園覚え書き」として、ご執筆いただいた伊藤純郎教授には御礼申し上げます。

2 茗溪・筑波産業人倶楽部について

昨年7月茗溪会館に於いて発会とシンポジウムが開かれた以降、第2回・第3回と盛況な会を重ねました。教育界にある太い柱と並ぶ産業界等の太い柱を作りたいという趣旨と半世紀を迎えようとしている母校の学生の支援をしたいということで活発な交流会が行われました。

本年の事業計画では年間4回開催し、その内2回を筑波大学内で実施して、学生と直接的な対応を試みながら就職希望学生の期待に応えようと計画しています。第4回交流会は、先輩と後輩の集いとして企画し、直接的な対話や個別相談にも応えんと承っています。

今後の進展や展開については、全般に亘っては組織委員会及び産業人倶楽部運営委員会が鋭意検討を重ねていますが、肝要なのは各地域組織等の実状や全国の同窓の皆様が十分満足されるような機能組織でなくてはなりません。そのためにも忌憚のない意見をお寄せいただくことも十分な連携動作を切望しております。これらのことが実現の力になると信じています。地域組織等特に設定された全国ブロックを大枠の単位として、産業人倶楽部の立ち上げや活動の定着が見込めないものかと期待しています。150年記念事業のピークを迎える令和4年頃に、全国的な展開が機能してくればと切望しています。

3 財政健全化活動の強力展開について

昨年の総会で、各地域組織等にあっては、その実情にあわせた方策で、会員・年会費納入率アップの積極的な勧誘活動をお願い致しました。一年を振り返りますと、お陰様で初年度なりの一定の成果が見られました。地域組織等の役員の方々のご努力のたまものと感謝していま

す。しかしながら、本会の財政健全化のプラス・スパイラルへの転換にはまだまだ厳しい道程です。年度会費納入率は10%(全国平均)、年会費納入額はおよそ20年前のほぼ半分の状況です。この課題は本会の自助努力必須の要諦であり、継続した強力展開が要望されます。

会費を完納された方々には、「茗溪フェロー」を設けて、特別のお願いをして有難いご厚情をいただき、本会に対して多大なご貢献を賜っています。心からの感謝を申し上げます。この制度は今後も継続して参ります。ここで、再び150年記念事業について申し述べお願いをしておきます。(後ほど委員会から詳細の報告)

昨年来、総会ははじめ広報を通してご周知と存じますが、150年記念事業実行準備委員会を設置して、広く意見を求めて検討し、また理事会等と共に議論を重ねるなどを経て、計画の大綱が固まった段階に至りました。

本日、総会に本件に関する理事長挨拶、企画(案)、寄付募集趣意書及び寄付募集要項等を提示いたしました。ご精読いただきまして、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

本事業の意義や意図するねらい等については、前述の理事長挨拶及び趣意書からお汲みとりいただければ幸いです。

この記念事業は、茗溪会あげての行事であります。重複しますが、基本的な三つの重要点を申し述べておきます。

(1) 記念事業等の諸企画は多彩を極めますが、会員の皆様には何らかの形で参加できるよう推し進め実施する所存です。

(2) 記念事業の中心となる時期を令和4年に置き、本年よりスタートして、約4年間に亘って諸企画を進めて参ります。

(3) 記念事業の所要経費は、拠金方法により賄うこととし、全国会員の皆様にご協力をお願いする次第です。寄付された方のご芳名は150年記念誌に記載し、将来にわたって顕彰致します。

本年から大きな歩みを始める三つの事業について述べましたが、三事業を相互に連動させながら推し進めて、その成果を挙げたいと願っています。

理事会は一丸となって本会発展のために渾身の努力をいたします。代議員の皆様、全国各地域組織等の皆様には茗溪の絆をコンセプトとして、茗溪会の一層の発展のために、特段のご理解と更なるご協力をお願い申し上げます。私のご挨拶と致します。

令和元年度 茗溪会定時総会

## ご挨拶

国立大学法人 筑波大学長

永田 恭介

(代読 筑波大学副学長 清水 諭)



日頃より、貴会からの本学へのご支援に感謝を申し上げます。貴会の令和元年度の定時総会に際して、ご挨拶を申し上げます。

現在、私たちは激動する世界の中にあり、しかも

我々の周りには水や大気汚染、大震災・大災害の発生、貧困や格差に関する問題など様々な地球規模課題に溢れています。加えて、我が国に固有の課題も多様です。Society 5.0の実現は前向きな課題です。一方、人口減少、高齢化、あるいは地方創生などに関連した課題です。我が国の高等教育も、いくつかの大きな課題に直面しています。その一つは、物理的に容易に変えることができない18歳人口の急激な減少です。現在の18歳人口は118万人程度ですが、2030年には約100万人、2040年には約80万人台まで減少します。進学率を飛躍的に増加させるなどの施策の転換などがないかぎり、また国立大学が今と同質あるいはそれ以上の水準の学生を求め続けるのであれば、学士課程入学定員は人口減少に応じて減少させていくしかありません。それは本学にとっても同様です。しかし、単純に人口減少に従って大学の入学定員を削減すれば良いというものではありません。グローバル化やデジタルサイエンスが進展する社会においては一定

数のそれを支える人材が必要です。知識基盤分野のみならず、スポーツ分野、創作分野などにおいても同様であり、幅広い層があつて初めてトップレベルが保たれます。必要な総数をいかに確保し、育成するかという議論が必要です。

一方、Society 5.0の実現された社会あるいはその結果としてのデジタルサイエンスの成果の実装が進む社会を考えると、大学における教育内容についても改革が必要で、一言で表現すれば、真に人がかかわらなければならぬ仕事、あるいはかかわるべき仕事を見出すとともに、その仕事において新たな価値の創造に繋がる活動のできる人材の育成が、また労働集約型社会から知識集約型社会への変化に対応できる人材の養成が高いレベルでの研究力とともに大学に求められていると言えます。本年4月から、学群・学類の学位プログラムを充実させる新カリキュラムが導入されました。並行して、全学的な大学院の学位プログラム化についても文科省に書類を提出したところです。どれも本学の今後の教育を実現するための改革です。学生の皆さんには是非これらを楽しんでいただきたいと思います。

昨年は平昌五輪やFIFAワールドカップがあり、日本人選手の活躍に沸きました。本学の学生も国内外で優秀な成績を収めました。学長として誇りに思います。一方、スポーツ界のさまざまな問題が浮き彫りになった年でもありました。とくに、昨年5月のアメリカンフットボールに関わる事件は大学スポーツにおいてこれまで曖昧であつたいくつかの課題を提起しました。この3月1日に大学スポーツ協会(UNIVAS)が発足しました。大学スポーツの収益化、学生の安全確保、学業との両立を目指すという設立目的には賛同しますが、学生の成長を一番に考えるべきとの観点から本学は参加を見合わせました。学連の位置付けが変わればUNIVASに参加したいと思いますが、それまでは本学はアスレチックデパートメントの理念を実装し、国内に波及させていこうと考えています。本学は、スポーツを推進する大学として、また関連領域を教育研究する大学として、今年度も大学スポーツの価値を考え、発信し、先導していきたいと考えています。

大学の教育研究に必要な国からの財政支援が国の財政状況を考えれば今以上に伸びて行くことが期待できない状況でもあります。その中でも本学は教育研究の革新に向けて努力を続けています。現在、研究力強化事業の2期目5年の、また申請数20から選ばれた8事業のうちの一つである国立大学経営改革促進事業の展開中です。教員に関連したハイライトですが、本学計算科学研究センターと東京大学が共同運営するスーパーコンピュータOAKFORD-PACSがストレージ性能ランキングを示すIO501リストで世界一位に認定されています。昨年度には「ヒューマニクス学位プログラム」が卓越大学院プログラムに採択されましたが、現在これに続くプログラムの申請中です。日本経済新聞社と日経HRによる「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」において、本学が総合ランキング1位となりました。これは、上場企業と有力非上場企業の人事担当者が採用した学生から見た大学の「行動力」「対人力」「知力・学力」「独創性」を評価したもので、本学の人材育成力が高い評価を得たことを大変うれしく思っています。

今年度も様々なことを経験する年となります。年号が代わりました。6月にはG20貿易・デジタル経済大臣会合がつくば市で開催されます。本学は、G20貿易・デジタル経済大臣会合を挟んで行われる2つのデジタルサイエンスに関する国際会議の開催に責任があります。9月からは約1ヶ月半をかけてラグビーワールドカップ2019日本大会が日本各地で開催されます。9月に第74回国民体育大会、10月に第19回全国障害者スポーツ大会が茨城県で開催されます。また、今年度はTGSWに代わり、より大きな目的を持って10月2〜4日にかけて筑波国際会議場で開催される「筑波会議」に各方面から注目が集まっています。このように筑波大学は様々な出来事を経験しながら、明日の課題を見据えつつ、日々の研究と教育と学生にじっくり向き合っていくと考えています。

茗溪会におかれましてはますますのご発展をお祈りするとともに、引き続き本学へのご支援をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

# 一般社団法人 茗溪会(令和元年度) 第8回定時総会議事(要旨)

一般社団法人茗溪会第8回定時総会は、令和元年5月23日(木)13時30分から茗溪会館2階「茗溪」の間において開催されました。議事に先立ち、高野常務理事より代議員総数97名のうち、出席62名、委任状による出席24名、合計86名の出席があり、定款第17条により定時総会は成立する、との報告がありました。また、関連法人の筑波学都資金財団から2名の出席を了解しているとの報告がありました。



高野 力 常務理事

江田理事長から、昨年に続き「茗溪創基150年記念事業の企画・実施の推進」「茗溪・筑波産業人倶楽部の定着、発展と展開」「財政健全化活動の強力展開」の三つの事業は、本年から相互に連動させながら更に強力に推進し成果を挙げたい、また、150年記念事業の諸企画には会員が参加出来るようにし、約4年間に亘って推

し進め、その所要経費は全国会員の拠金により賄いたい、など本会の当面する重要課題について述べられました。(P4参照)

続いて筑波大学長が所用のため欠席されたので、佐藤副学長から学長祝辞が代読されました。(P5参照)

## 議長就任、開会宣言及び議事録署名人

常務理事から、定款第15条により理事長が議長につき、次いで、議長から、第8回定時総会を開催するとの開会宣言がありました。定款第19条により議事録は議長及び総会において選出された議事録署名人2名が署名することになっているとの説明があり、本総会選出の議事録署名人2名には、柳久美子代議員と渡邊悟代議員を選出して議事に入りました。

## 審議事項

**第1号議案 平成30年度事業報告、決算書類及び監査報告の承認について**

議長から、本議案は一括提案説明、一括審議、一括承認の流れで諮りたいとの発言があり、次いで、常務理事から30年度の事業について、また、岩田局長代理から30年度予算・実績対照表、貸借対照表、財産目録、注記事項、正味財産増減

計算書、財務諸表附属明細書、財務諸表に対する注記について、それぞれ概要説明があり、飯塚監事から、30年度会計期間における会計・業務の監査結果は、法令又は定款に違反する事実はなく適正と認めるとの報告がありました。

これに対して、代議員から、第一生命保険に保証金14億円を26年後に一括返却する計画について質問があり、今後毎年約4千万の積立計画で26年後には返却できる体制になっているとの説明がありました。以上を受けて、議長が、本議案を一括して諮ったところ、本議案は賛成多数で可決承認されました。



飯塚良成 監事

**第2号議案 令和元年度事業計画(案)及予算(案)について**

議長から、本議案は一括提案説明、一括審議、一括承認の流れで諮りたいとの発言があり、これを受け常務理事から元年度事業計画(案)について、また、岩田局長代理から元年度予算(案)について、それぞれ提案説明があり、議長から、本議案を一括して諮ったところ、本議案は賛成多数で可決承認されました。

## 第3号議案 役員を選任について

役員は、本総会の決議によって選任されますが、本件は、理事1名の辞任に伴う補充人事で、候補者は理事会内に設けられた役員選考委員会で選考し、理事会の合意を得て本総会に提案するものであること、役員任期は2年ですが、理事辞任に伴う補充人事であるため、任期は残存任期1年であること、また、本年4月20日、役員選考委員会(委員7名)を開催して、慎重審議の上、候補者として春山賢男氏を選考し、4月理事会で合意を得ましたので、本総会に上程したいとの提案があり、本議案は異議なく賛成多数で選任されました。



井口武雄 副理事長

**第4号議案 定款の変更(第21条2項の一部変更)について**

定款の変更は、総社員の3分の2以上の多数をもって決議することが必要で、本議案は、本年3月理事会で承認を得ているとして、定款新旧対照表に基づき、定款の変更案の変更理由及び変更内容について説明がありました。これを受けて、本議案について諮られたところ、本議案は賛成多数で可決承認されました。





宮尾 徹 理事

### 第5号議案 会費規程の変更（第3条5項の一部変更）について

会費規程の変更は、総会の決議が必要であり、本議案については、本年3月理事会で承認を得ているとして、会費規程新旧対照表に基づき、会費規程の変更案の変更理由及び変更内容について説明がありました。これを受けて、本議案について諮られたところ、本議案は賛成多数で可決承認されました。

### 報告事項

#### (1)第4号議案に関連した本会役員を選定について

第4号議案で承認された2名以内とする常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定され、また、事務局長は、理事長が理事会の承認を得て任免されるため、本年3月理事会で諮ったところ、事務局長を兼任した法人業務全体を担当する常務理事には矢野正人理事、150年記念事業を推進する担当常務理事には高野力理事を充てることについて内諾を得ていたとの報告があり、了承されました。

#### (2)茗溪創基150年記念事業（企画と拠金）について

150年記念事業は、理事長の明確な方針のもと順調に推移しており、本年から約4年間に亘って記念事業の諸企画を進めていくとの報告があり、記念誌の編纂で「各地域組織の歩みとその発展に尽くした人々」という章を設けるので、各地域組織等における活動を記述願いたいとの要請がありました。また、150年記念事業について想定される企画（案）の具体的内容並びに150年記念事業の所要経費を賄うための寄付金募集趣意書及び寄付募集要項について概要説明があり、各地方組織等におけるご理解・ご協力方要請がありました。



河本 武 理事

#### (3)令和元年度組織委員会事業計画及び第4回茗溪・筑波産業人倶楽部意見交流会について

令和元年度組織委員会事業計画（基本方針、全国展開事業計画、茗溪・筑波産業人倶楽部の動向）及び第4回茗溪・筑波産業人倶楽部「第1回就活相談会」の概要について報告がありました。

#### (4)財政健全化への歩み（各地域組織会費納入者の推移）について

財政健全化への歩み（各地域組織会費納入者の推移等）について報告がありました。また、今後の財政健全化への具体的な取組みについて説明があり、各地域組織に対してご理解とご協力につき要請がありました。

### 諸連絡等

#### (1)会員登録・会費納入状況等について

会員登録状況、年度別会費納入状況、各地域組織納入者明細について説明がありました。

#### (2)令和元年度地域組織等からの連絡文書について

地域組織等からの連絡文書について説明があり、連絡文書の様式は、茗溪会HPからダウンロードして提出願いたい、また、春秋の叙勲受章者の連絡用紙、地域組織等の組織表、地域組織等における活動及び代議員選挙届は、必ず提出願いたいとの要請がありました。

#### (3)代議員選挙について

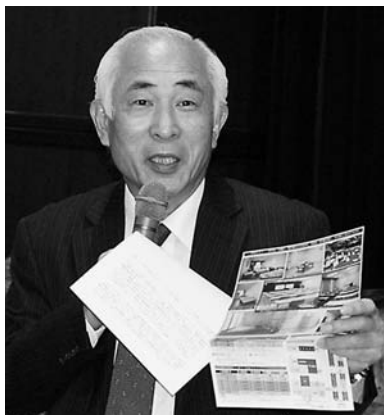
代議員選挙規程及び令和元年度構成人員に基づく代議員推薦数について説明があり、代議員の立候補届出書、候補者推薦書及び候補者名簿は、各提出期限迄に提出願いたいとの要請がありました。

#### (4)関連法人の役員紹介等について

関連法人である筑波学都資金財団の福田筑波研修センター事務局長及び信太学舎管理事務所事務局長並びに茗溪学園の田代中学校高等学校校長及び柴田事務局長から、それぞれ配布資料に基づき概要説明がありました。



信太 郁夫 学生宿舎管理事務所長



福田 滋 筑波研修センター事務局長

### 閉会

江田理事長から閉会宣言がなされ、総会は終了しました。

総会に引き続き、会場を4階に移して会員懇談会が開催され、江田理事長による挨拶、出席者による懇談が行われました。

# 平成30年度決算報告

## 貸借対照表

平成31年 3月31日

(単位：千円)

科 目	当 年 度
<b>I 資産の部</b>	
<b>1. 流動資産</b>	95,750
現金預金	
未収消費税	
流動資産合計	95,750
<b>2. 固定資産</b>	
固定性預金	284,060
建物	692,449
構築物	3,586
機械装置	2,160
什器備品	538
土地	314,776
固定資産合計	1,297,569
<b>資産合計</b>	1,393,319
<b>II 負債の部</b>	
<b>1. 流動負債</b>	
前受金	21,835
未払法人税	7,813
未払消費税	1,761
預り金	306
流動負債合計	31,716
<b>2. 固定負債</b>	
退職給与引当金	5,173
満期共済金引当金	24,500
保証金	1,410,000
修繕費積立金	
固定負債合計	1,439,673
<b>負債合計</b>	1,471,388
<b>III 正味財産の部</b>	
一般正味財産	△78,070
正味財産合計	△78,070
<b>負債及び正味財産合計</b>	1,393,319

## 正味財産増減計算表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日

(単位：千円)

科 目	当 年 度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
<b>1 経常増減の部</b>	
(1) 経常収益	
基本財産運用収益	
地代収入	58,900
建物賃貸収入	25,183
会費収入	
正会員受取会費	23,703
茗溪フェロー会費	2,537
事業収益	
委託料収入	2,612
広告料収入	3,514
寄附金	
寄附金収入	1,881
退職給付引当金取崩収入	
退職給付引当金戻入益	0
雑収益	
受取利息	361
駐車場利用収入	1,218
雑収益	1,510
経常収益計	121,419
(2) 経常費用	
事業費	
給与手当費	24,111
式典事業費	439
旅費交通費	750
負担金	230
通信運搬費	5,791
印刷製本費	3,301
水道光熱費	2,304
業務委託費	7,995
租税公課	20,704
修繕費	2,003
火災保険料	763
支払利息	0
助成金	5,313
退職給付費用	674
管理費	
監事報酬	150
臨時雇賃金	201
退職金	0
福利厚生費	52
総会諸費	1,162
会議費	753
旅費交通費	1,394
通信運搬費	1,691
什器備品費	554
消耗品費	321
印刷製本費	632
集金費	2,277
諸謝金	701
負担金	30
会員データ管理費	2,681
渉外費	76
賃借料	767
減価償却費	36,103
租税公課	9,574
雑費	39
経常費用計	133,538
当期経常増減額	△12,118
<b>2 経常外増減の部</b>	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
固定資産除却損	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△12,118
一般正味財産期首残高	△65,951
一般正味財産期末残高	△78,070
<b>IV 正味財産期末残高</b>	△78,070

## 収支計算書

平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日

(単位：千円)

<b>I 事業活動収支の部</b>	
<b>1. 事業活動収入</b>	
(1) 事業活動収入	
会費収入	26,240
正会員会費収入	23,703
茗溪フェロー収入	2,537
事業収益	90,209
地代収入	58,900
賃貸料収入	25,183
委託料収入	2,612
広告料収入	3,514
寄付金収入	1,881
寄付金収入	1,881
雑収入	3,089
駐車場利用収入他	1,218
受取利息収入	361
雑収入	1,510
退職給付引当金取崩収入	0
退職給付引当金取崩収入	0
事業活動収入計	121,419
(2) 事業活動支出	
事業費支出	73,704
管理費	13,483
予備費	0
事業活動支出計	87,187
事業活動収支差額	34,233

# 令和元年度 一般社団法人 茗溪会 事業計画

## 1. 事業計画のねらい

- (1) 本年度は一般社団法人移行後8年目にあたり、将来を見通し、さらに事業を円滑に進めるための計画を実施する。
- (2) 茗溪会館の利活用を安定・向上させることを重点事業と捉え取り組む。
- (3) 平成28年作成の中期将来計画に基づき、継続して将来を見通し事業を展開する。
- (4) 地域組織等の活動の充実・活性化事業を推進する。
- (5) 新規会員の獲得・正会員の増加及び会費納入率アップのための組織的・計画的な活動を推進する。

## 2. 事業の目的 (定款第3条)

会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図り、併せて国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力し、学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する事を目的とする。

## 3. 事業の内容 (定款第4条)

- (1) 会員相互の親睦を図るための交流事業並びに会員の福祉を図るための共済に関する事業
  - ① 「茗溪・筑波産業人倶楽部」の活動推進
  - ② ホームページの充実による交流促進
  - ③ 追悼のつどいの実施
- (2) 定期刊行物その他出版物などの発行に関する事業
  - ① 季刊誌「茗溪」の発行…年4回
- (3) 研修会、講演会、公開講座等会員その他の教養向上と地域社会への貢献に資する事業
  - ① 公開講座の実施
  - ② 地域組織等主催による公開講座への助成
- (4) 学術、芸術、社会貢献、国際相互理解等の顕著な活動に対する奨学、支援、表彰などに関する事業
  - ① 学生諸活動への助成事業
- (5) 財産の管理・運営に関する事業
  - ① 財政の健全化
  - ② 茗溪会館の利活用を安定・向上させる事業
- (6) 教育の振興、普及活動に資する事業
  - ① 筑波大学側と地域組織等との交流
  - ② 筑波大学就職ガイダンスへの協力
  - ③ 教職受験対策研修会の開催
- (7) 茗溪創基150年記念事業の準備・推進
- (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

## 4. 前項の各事業は、全国において行うものとする

## 令和元年度予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	R元年度予算	科 目	R元年度予算	科 目	R元年度予算
<b>I 事業活動収支の部</b>		(2) 事業活動支出		総会諸費支出	1,162
1. 事業活動収入		事業費支出	85,510	会議費支出	953
(1) 事業活動収入		給料手当支出	28,100	旅費交通費支出	1,700
会費収入	26,240	助成金支出	5,313	通信運搬費支出	1,620
正会員会費収入	23,703	式典費支出	439	集金費支出	2,226
フェロー収入	2,537	旅費交通費支出	950	什器備品費支出	554
事業収益	90,298	負担金支出	230	消耗品費支出	255
地代収入	58,900	通信運搬費支出	6,291	印刷製本費支出	468
建物賃貸収入	25,272	印刷製本費支出	3,301	会員データ管理費支出	2,900
委託料収入	2,612	租税公課支出	30,278	諸謝金支出	701
広告料収入	3,514	業務委託費支出	5,741	負担金支出	30
寄付金収入	100	光熱水料費支出	2,304	渉外費支出	76
寄付金収入	100	火災保険料支出	763	賃借料支出	767
雑収入	2,741	修繕費支出	1,800	雑支出	30
駐車場利用収入	1,217	管理費	13,845	予備費	0
受取利息収入	14	監事報酬	150	事業活動支出計	99,355
その他雑収入	1,510	給料手当	0	事業活動収支差額	20,024
退職給付引当金取崩	0	臨時雇賃金	201		
退職給付引当金取崩	0	退職金支出	0		
事業活動収入計	119,379	福利厚生費	52		

## 第4回「茗溪・筑波産業人倶楽部」

### 第1回就活相談会 ―「今回は学生が主役」

2019年6月14日(金)午後1時から5時半まで、筑波大学学生会館ホールにおいて、第4回目の茗溪・筑波産業人倶楽部(以下、産業人倶楽部)が開かれました。

この会は、「教育界にある茗溪会の太い柱と並ぶ産業界の太い柱を作りたい」という趣旨の会ですが、総合大学となり半世紀を迎えようとしている筑波大学の学生の就職活動の支援を具体的にしようと、「今回は学生が主役」ということで「第1回就活相談会」を開催しました。

平日の午後1時開始ということで授業時間と重なる開催であったせいもあって最初学生の集まりが少なかったのですが、結局、学生78人、講師22人、運営等併せて122人の参加者でした。参加者は、大学1年生から大学院生まで幅広い年代層の就職やキャリアに興味関心の高い学生に集まっていたきました。

この会は、開会式の後の第一部の「意見交換会」に続き、第二部では現役筑波大学生が各方面で実際に活躍している企業人の先輩に直接、自由に話しができるという貴重な「個別相談会」が行われました。今回は、それぞれ職業分野ごとに分かれた21のブースを設定して、20分切替で、いろいろなブースに行つて自由に先輩と相談できるというものでした。今回参加者がさほど多くはないため逆に時間的余裕もあって、多くのブースではほぼ一対一の相談ができたので、参加した学生には実に貴重な経験ができたといえます。また、ボランティアで講師を務めてくれた先輩の自信に満ちた生き生きとした姿にも感銘を受けたようです。

今回は、その第一部、第二部の概要と参加した先輩や学生の声などをお伝えします。

### ●開会の挨拶

産業人倶楽部の発起人の一人であり、現同会長でもあ

る河本武(S37教大体・S39教大院単位取得退学、(株)ユーハイム会長)さんから開会の挨拶がありました。

### ◆河本武さん

#### ―人生は出会いに始まる筋書きのないドラマ



河本 武氏

「私は菓子屋ですが、新しい店舗の発表の初日は客がほとんどいないというよなことを何度も経験しています。今日は、そういう中で情報感度の高い方に集まっていたと思っています。きっと数年後、十年後にこの状況は大きく変わると思っていますので、そうなったとき、この第1回目の今日を思い出したいと思っています。

人生3ステージのうち、大学生という第1ステージの最後の段階にいる諸君が、今社会人という第2ステージに移行する大切な時期を迎えています。そのときの心構えで職業人生が大きく変わってくるので、しっかりと心構えをもって第2ステージに向かっていって欲しいと思います。日経新聞によると、企業の人事担当者からのイメージでは、筑波大学生は総合ランキング1位であるといえます。ぜひ企業でも大きな成果を上げて、定年退職時にも第1位であつてほしいと思います。今後職業人となった皆さんには、ぜひ茗溪会に入つて、産業人倶楽部にも入り、単なるサラリーマンとしてではなく、ともに企業を動かす経営者として学びあい教えあい、成長していきたいと考えています。ぜひこのような機会も大いに活用して第2ステージにスムーズに移行して行つてください。今日は折角の機会ですので、本音で語り合ってください。」と、「人生は筋書きのないドラマ」というレジュメを用意されて、魂のこもった熱い激励をしていただきました。

### ●第一部「意見交換会」

意見交換会では、茗溪会の組織委員会副委員長でもある廣田則夫(S53筑一社、(株)アセアンホールディング専務取締役)さんから、「私も筑波大学の一期生ですが、その年代のOBが定年を迎える時期になっています。その筑波大学のOBは海外でも大いに活躍して、茗溪会として交流しています。今やどの会社に入つても活躍されている筑波大学の先輩がいる状況になっています。今回もそのような先輩に多く来ていただいているので、ぜひ自由に相談してください。」と、今回開催の趣旨について話がありました。



廣田則夫氏

続いて、先輩の中でも民間企業から採用コンサルタントの谷出正直さんと、就職関係の起業家である成瀬拓也さんの二人のやりとり

### ◆谷出正直さん(H17筑修体、採用コンサルタント)

#### ―就活は大学受験とは違う。行動をして

「卒業後、民間企業に11年間勤務後、採用コンサルタントに転身して、採用について企業と大学の両方の支援をしています。今回この就活相談会の企画をしました。就職支援の仕事しながら現役の大学生と話す、皆さんが就職活動も大学受験の延長線上にあると考えがちですが、就職活動は、正解があつて何点取れば合格するというような大学受験とは全く違うことを理解してください。面接でどう答えればいいのかとか、エントリーシートをどう書けばいいのかなど、正解を求める発想から脱却して欲しいと思います。」

仕事に就いたとき、それをどう知ったのかを突き詰めると、二つしかありません。人に会ったか、情報に出会ったかの二つです。小学生に将来就きたい仕事を聞いても、超一流企業名などが出てこないのは、情報として知っていないからです。こういう場を使って、いろいろな人の話を聞いて共感できたものが適切な情報として残っていくと思うので、ぜひいろいろな人の話を聞いてください。

こういう機会を作って行動して欲しいと話した後、メールを送ったりアポイントを取ったり実際に行動する人は、どれ位いると思いますか。なんと4%程度です。ほとんど行動しないのです。だから行動しただけで、凄く目立つのです。もし、共感できる場合があったら、ぜひ行動してみてください。」



谷出正直氏と成瀬拓也氏

◆成瀬拓也さん(日15筑体専、(株)ウィルフォワード経営者)  
—メンター、ロールモデル、ライバルを持つ

「参加者の中でも特にユニークな経歴なので、ここに呼ばれたのかと思っています。大学卒業後、起業を考えていたが、まず会社勤めをしようとして、コンサルタント会社のベンチャー企業に勤め、新規事業や人事採用担当などをやりました。そのうち自分で会社を立ち上げ経営すべきだと思い起業しました。ライザップなど会社立ち上げをとともに行ったりしてきました。現在、大企業、フリーランス、ベンチャー企業などいろいろな人々と事業を行っています。そういう意味では希有な存在だという

ことで今回呼ばれたと思っています。

大学時代は陸上競技をやっていた、箱根出場を目指していましたが、結局叶いませんでした。でも、諦めきれず就職の決まっていた仲間の就職を止めて大学院に進学してもらい、もう一度一緒に箱根を目指そうとしましたが、結局予選会には自分が怪我で諦めざるを得なかったのが、本当に悔しくて落ち込みました。そのとき、谷出君に出会っていろいろサポートしてもらったり、お蔭で考え方を変えたりした部分もありました。自分の人生のピークを勝手に箱根駅伝に設定したが、そこで満足せずもっと社会で羽ばたくべきだと考えるようになりました。司馬遼太郎の「竜馬が行く」にも影響され、外に出て行って、社会を動かそうと考え直しました。私はいわゆる一般の学生がするようなナビを使った就活はしていません。それより企業のトップに直接会いに行くという就活をしました。それは、本を読んで感動した執筆者で企業のトップの方に読後感などを率直に手紙に書いて送り、できれば直接会って頂けないかとお願いしました。それを面白がってくれたトップの方は結構会ってくださいました。その出会いから面接試験を受けることができたりました。今日この就活相談会に来ていただいている先輩の方々は素晴らしい人たちがばかりなので、直接会えるなんてとても素晴らしいことです。この人たちに直接会って、自分の本音をぶつけたり、相談に乗ってもらうことなんてなかなかできないチャンスです。ナビを使うのもいいし、イベントに出るのもいいし、スカウトサイトを使うのもいいが、こんな折角の機会でもあり、そのような趣旨なので、ぜひ飛び込んでいって活用して欲しいと思います。

就職の正解とは、何か。正解とはどの会社に入ったかではありません。どの会社に入っても正解にできると思います。この会社なら無茶苦茶頑張れるなど思える会社であれば正解だと思います。これからは会社という枠だけでなく、会社を超えて社外の人とのつながりなども大きな財産となってきます。そういう意味で、学生さんにはメンターとロールモデルとライバルの3つをもつことを勧めます。ライバルは頑張る刺激相手ですので、同世

代に見つかりやすいが、自分の人生を導いてくれる人であるメンターはなかなか見つかりません。会社の上司でもいいですが、それだけでは視野が狭いので、異世代や異ジャンルのメンターをもてると絶対いいと思います。こういう場はそういう方に出会えるチャンスでもあると思います。その会社に入りたいというだけでなく、その方から吸収したり学び取ったりできるような人と出会えるチャンスでもあると思います。」

●第二部「個別相談会」

谷出正直さんの進行で、20分ごとに各ブースの社会人講師のところに行き、「自分の将来や就活を考えるために必要なことは何か」についてや、その講師の勤務している会社の具体的な仕事の内容や職種や業界の概要など、また学生時代の経験が社会人になっていかさされていることや学生時代にしておくといけないことなどについて、本音で語り合う時間としますということで、活発な様子が見られました。

講師側(先輩)の声

学生と話した内容や学生の反応などについて、講師側の先輩4人分の声を載せます。

このほか、参加した講師側からも、学生の純粋な気持ちに打たれたり、改めて自分の働く意義について考える契機になったりと大きな刺激を受けたという声がありました。

◆川上英樹さん(日23数理物質科学研究科修了) 日揮勤務  
—社員と会い、生の声を多く聞く

「エンジニアリング最大手の日揮に電気エンジニアとして入社し、数か国の海外勤務を経て、現在は本社の海外営業部に勤務しています。今回の相談会に来たM1の学生の中に、目的意識というか、ビジョンをしっかり持っている人がいて、とてもうれしくなりました。学生たちは、私の海外勤務経験、特に文化を異にするカタルでの生活や、カナダでLNGの巨大プロジェクトを担当

したときの経験、そして、入社後にアメリカのシステムを学べる企業派遣（半年から一年間）があることなどに強い関心を示していました。就活を考えている学生には、できるだけ社員と会い、生の声を多く聞くことを勧めました。」

◆齋藤明子さん（H18生命環境科学研究科修士）≪日本総合研究所勤務  
—自分なりの考えや価値観を大切に。表情を見る

「システムインテグレーション・コンサルティングを



参加企業担当者のみなさん

手がける会社に入社後、総務や採用を主とした人事を担当してきたので、自分の現在までを振り返る「私のモチベーショングラフ」を作って自己分析し、それを就活に生かすことが大切であることを説明しました。すなわち、これまでの人生の軌跡においてさまざまなことを選択してきた理由はどこにあったかを見直し、自分なりの考えや価値観を大切にすること、その辺を飛び交っている就活情報には踊らされず、就職活動の軸を作っていくことが大切であることを話しました。採用の際に、「まず学生のどこを見るか」という質問には、「表情を見る」と即答しました。それで相手を評価するわけではないが、表情は最初の印象を左右し、心の中の感情が表れるからです。本当に第一印象

は大きいです。また、インターンシップにも応募して、自分の研究していることに拘らずに専門外の職種も経験すると、軸がしっかりしてきますと話しました。」

◆荒井秀人さん（S61筑社工卒）≪森トラスト勤務

—入社したら三年は頑張る。30代半ばが分岐点

「30年という長い銀行勤務のあと、都心部の大型複合開発やホテル・リゾート事業を手がけている現在の企業で役員を務めています。自分が手がけているビジネスについては、日本にはまだハイ・アンド・ラグジュアリーホテルが足りないもので、東京都心に外資系の超一流ホテルをまだまだ誘致します。しかも日本独自のものは残す形で来てもらうつもりです。学生には、一つの会社に入ったら三年は頑張るべきで、与えられた仕事は、それがたとえ単純なものであっても、いかに効率よくやるかを工夫したりすべきです。まずは仕事に興味を持ち、そのあと信頼を得るように頑張ります。しかし決して謙虚さを忘れてはならないと思います。「Curiosity(興味・関心)、Confidence(信用)、Modesty(謙虚)」の3つの軸で仕事をしてほしいと思います。こうして3年経ったのちに、そのあといろいろとキヤッチボールをして30代半ばに、本当に自分に合った職業につくのもよいと思います。30代半ばまでは、社会と勉強の行き来であるべきで、場合によってはMBA(経営学修士)を取って別の企業に入るもよいでしょう。日本も近いうちそういう社会になると思います。」

学生は、荒井さんの「プレゼン」に圧倒され、引き込まれ、その道のプロはすごい、との印象を持ったようです。

◆匿名(食品メーカー勤務)

—本命以外の分野にも参加してみよう

「私は、運動栄養学を専攻した専門性を生かして入社しましたが、会社に入ってみるとまずIT部門でシステム開発プロジェクトマネージャーとして活躍することになり、その後人事部門で人事制度や採用を担当することになりました。今は、人事が天職だと思えるほど仕事が好き楽しいです。採用した人材がどんな分野で力を発揮して



個別相談会状況

くれるか、あえて大学で学んだこととは違う部門の仕事に配属させてみたりしています。就活においては、興味ある会社以外のところもあえて見てみると思います。たとえば、食品メーカーをね

### 学生の声

参加した現役学生にも、相談した内容や参加しての感想について伺いました。匿名希望を含め3人の学生の声をお届けします。このほか、相談先を見つけられないで困惑していた学生にとっても大変意義深い相談会になったという声などが聞かれました。

◆外山美祐希さん(人間総合科学研究科前期2年)

—人事の担当者から直接話が聞けるなんて

「私は、大河ドラマ「いだてん」でスポーツ史考証を担当する真田久教授の研究室に所属し、自分自身もドラマの考証をしています。茗溪会の就職相談会パンフを見た時、私と同じ体育専門学群のOGであり、私もターゲットの一つにしている食品メーカーの話聞いてみたかったので参加しました。このあとは、キリンHDの森美江

さんのところに行きます。実際に人事で採用を担当されている方が何人も来てくれていた相談会は、実にすばらしい企画だと思います。私が今取り組んでいる時代考証の仕事や、大学や大学院で学んだこと、あるいは部活動の経験、アルバイトをした経験が、就活ではどのように評価されるのか、生の声を聞けたのでたいへん参考になりました。」

#### ◆匿名(数理学物質科学研究所1年)

##### —こんな素晴らしい機会の提供に感謝

「私は、大学院修士の1年ですが、まずは就活が最大の関心事です。将来の年金給付不安を考えると、しっかりと職業に就いて、しっかりと貯金をおかねばならないと思っています。しかも、やりがいのある仕事、世界を舞台に活躍できる仕事に就きたいという気持ちは強いので、今日は関心のある石油化学の仕事内容、特に海外勤務の実際が聞けたので、たいへん参考になりました。このあとは、総研、広告、ITなどできるだけ多くの方に相談してみます。就活は、リクナビだけでは分からない面もあるので、すでに数社に夏季インターンシップの申し込みをしました。短期間であっても直接会社を経験したいと考えています。また、TOEICは90点を目標として勉強し、しっかりと語学力も身に付けておきたいです。来年は6月中に就職を決め、その後は集中して修論に取り組みたいと思っています。今日はすばらしい機会を提供してくださったので、感謝しています。」

#### ◆野間駿太さん(体専3年)

##### —学生時代の経験は必ず生きる。自信を

「私は、硬式テニス部の副リーダーをつとめ、筑波大学MEIKEIオープンテニスの企画運営に当たっています。この大会は、いわゆるフューチャーズ大会と呼ばれるテニス国際大会の一つで、クラウドファンディングで成り立っています。仲間とともにこの運営に当たった経験は、自分の中でかなり大きな自信となっています。こうした経験は就活にも生かせるのかどうか、今回の相談会を心待ちにしていました。私は教員一家に育ち、自分

も将来的には教員の道を考えていますが、現在、教員採用の社会人優遇枠を設けるところが出てきたので、まずは企業に就職し、30代半ばまで社会人としての経験を積みたいと考えています。就活は、すでに合同説明会で商社を数社まわりました。あるとき大学のOBの方から、今は商社に限らずに視野を広げているいろいろな業界の方と話をした方がよいとアドバイスされたので、今日の相談会ではさまざまな業種のブースをまわりたいと考えています。さきほど総合商社のお話を伺いましたが、仕事に対するあふれるエネルギーを感じました。また、森トラストの荒井秀人さんから、テニス部の経験は必ず生きる、これからはどのような場面でもヒロソフイー(Philosophy)、すなわち自分の軸をきっちりと思えることだと励まされて、凄く勇気づけられました。」

以上のように今回の就活相談会は、学生にも先輩にも大変好評なものでした。

今回授業中の開催で参加したくても参加できない学生もいたということなので、次回は、アンケートで希望の多かった曜日を考慮し、10月16日(水)を予定していますので、奮ってご参加ください。

#### 【参加者の業種(企業一覧)】

金融(中央銀行・日本銀行、保険(三井住友海上)、飲料メーカー(キリンHD)、繊維・化学(東レ)、建設・エンジニアリング(日揮)、不動産(森トラスト)、IT・コンサルティング(日本総合研究所)、デジタルマーケティング・インターネット広告(電通デジタル)、広告・IT(セブテニグループ)、マーケティング・事業投資(ウイルフォワード)、ベンチャー投資(AISCAPITAL)、地方銀行(常陽銀行)、教育(茗溪学園)、キャリアコンサルタント(筑波大学)。その他にも、食品メーカー、総合商社、鉄鋼商社、流通・小売、教育・福祉の業界を代表する企業が参加。



相談会全景



就活相談会スクリーン

## 第1回就活相談会参加講師感想一覧

業界区分	卒業年	①今回、学生と会って感じたこと。	②イベントに参加して感じたこと。
①メーカー to C	—	卒業して15年以上たった今でも、就活の温度感があまり変わっていないように感じました。距離的なバイインドはあると思いますが、どこでも情報が取れる時代になったのにもったいないと思います。今回来てくれた学生は積極的な層だと思いますので、素直に様々な角度で質問してくれ、こちらに必要な情報提供が少しでもできていれば幸いです。	これだけ様々な企業から（しかも人事以外で）集まる機会はなかなかないのに、参加がふるわないのは正直もったいないと感じました。事前の告知や個別の声かけが課題なのか？場所をもっと柔らかい雰囲気のところに変えたらいいのか？等工夫の余地はあると思います。
①メーカー to C	H1卒業	就活はこれからということだと思いますが、おとなしい学生が多いと思いました。特に女性。行動力や積極性、主体性をもっと身に着けてもらいたいと感じました。予想以上に理系の学生が多く、文系の就職情報しか持っていないので、理系の学生には申し訳なかったです。	正直、筑波大生の就活に不安を感じました。できれば面接対策講座をやったほうが良いと思います。学生は、どんな自己PRや面接対策をすればいいのか、イメージできていないと感じました。シナリオ作って、受かる面接、落ちる面接のロープレやったほうが理解しやすいのではないのでしょうか？できれば自己PRの指導もしたいところです。
①メーカー to B	H15卒業	6月のこのタイミングで、具体的にどういう仕事に就きたいか明確でない（明確に出来ない）のは仕方がないが、そのような中、今回参加した学生は、就活に対して何かしらの目的意識をもって臨みたいという意思が感じられました。会社情報だけでなく、就職活動の仕方や職種の選び方など広範囲な質問が多かったことから、就職したいという意識は高いものと思います。あと、理系学生のほうが積極的に感じました。（当社のフィールドを考えると自然な事かもしれませんが）	既に社会で活躍している卒業生とつながりが出来ることは、私にとってもメリットを感じています。
②商社	H16卒業 H18修了	大学3年生が主ということで、これから就職活動を始めるとい段階の学生が多く、まずは就職活動を終えるまでの全体のスケジュールを掴むことが大事なかなと思いました。	時代の変化が早く多様な価値観が共存する時代になっているので、10歳離れるだけでも、学生へ助言することの難しさがあると思っています。画一的な解答が存在しない時代、自分の納得できるキャリアを示せるのは自分しかないというのが基本原則ということをお先ず学生に理解してもらい、OBである自分ができることは自分のケース、自分が見聞きしているケースを参考として提示することに留まるということを認識しつつ、学生とコミュニケーションを取ることが大事かと思いました。
②商社	H15卒業	私自身が入社する前に感じていた商社に対する疑問をどの学生も持っていたことで、自分自身の準備の不十分さを反省しました。学生の全体的な志向が事前にわからなかったこともあり、緩めに臨んだことも反省点だと感じています。大学2年、3年から就職活動に興味がある人自体は、（私と違って）比較的意識が高いものだと改めて痛感した次第です。	所属する組織の人事戦略に関しては従事した経験があるが、一般的な日本の人事部が携わるようなイベントは今回初参加でしたので、普段従事する業務の延長だけで考えてはいけないということを切に感じました。総合商社と比較した場合の専門商社など大枠な話が中心となった為、もう少し海外での経験などを出してもよかったのかと考えています。
③金融	S61卒業	今後の本格的な就活に向けて、幅広い年齢層の社会人と話をする「場慣れ」が必要だと思います。気兼ねなく話ができるこうした機会を、ぜひ活用していただければと思います。	私は学生さんから見れば親のような世代ですが、かつて筑波大学で学んでいた、という1点において、初対面の学生さんとも打ち解けて話ができ、楽しい時間を過ごさせていただきました。
③金融	H6修了	やりたいこととか、しっかりした問題意識を持っている学生が多かった。	初めての試みとしてよかったと思う。
③金融	H26卒業	就職活動で、まず何から手を付ければよいかわからないといった学生が多く感じました。まずは自己分析を確実に実施し、自らを見つめ直すきっかけを促すことが重要であると感じました。	就活意識の高い学生を集客することはできる為、人間性として魅力的であるものの就活意識が低い層にアプローチできればよりより取組になるのではないかと感じました。
④マスコミ	H20修了	より多様な（例：学年、専攻、デモグラフィ…）学生さんにお会いして、筑波大OBOG社会人がサポート出来たらと思いました。多様な業界で活躍されている経験豊富なOBOG陣を見ると、就活層学生との出会い限定閉じず、学業に閉じない、実践的な学びを得る機会（その1つの切り口としてキャリア形成・就活）に出来るような兆しも感じました。	大学・茗溪会、OBOG、学生、全てにとってより良い機会だと思いました。今後の更なる発展を期待していますし、私で出来ることがあれば協力させて頂きたいです。



## 第1回就活相談会参加講師感想一覧

業界区分	卒業年	①今回、学生と会って感じたこと。	②イベントに参加して感じたこと。
⑤IT	H18修了	進学も含め迷っている学生、業界理解を深めようとしている学生、既に業界を絞っている学生など多岐に渡る方とお会いできました。OBという共通項がある存在だからこそ初対面でも迷いを正直に話してくれていたのを実感いたしましたので、このきっかけは大事にしたいと思います。	物理的な距離もあり、直接お会いして話すのはなかなか難しいかと思っておりますので日常から距離を近づけるプラットフォームがあっても良いのではと感じました。イベント参加OBに気軽に相談できる窓口があると、顔を合わせた上でのコミュニケーションが図れるため、より深く交流できるのではと思います。
⑤IT (web)	H26卒業 H28修了	自らの就職活動について、大量の会社の中から自身にとって合いそうな会社を選ぶことに集中してしまい、自身が本当に何をしたいかに向き合っている人は少なかったように感じます。一方で、自身の得意なこと・好きなことを知るために必要な経験は十分にあり、対話によって引き出す・自覚してもらうことができたので、そういった機会があると良いかもしれません。	初回なこともあり、参加人数に不足を感じたときは不安でした。しかし、少人数の学生との対話には個別の話を深めていくことができるメリットがあるので、むしろ今後は講師一人あたりの人数を小さくできれば良さそうに感じました。
⑦サービス	S61卒業	我々の時代と比べて、実にまじめに将来のことを早くから（2年生でも）考えている人が多く、時代背景もあるのかと感じました。（我々の時代は、バブル直前で右肩上がりの経済環境で就職も何とかかなと楽観的だった） まだまだ視野が狭いので、もっと気楽に多分野の話を聞いて頂きたかったが、どうしても学生がイメージし易いB to Cの会社に偏ってしまった感じがしました。	正直申し上げて、参加者は少なかったと思います。4年生の就活が終盤になりましたが、まだ3年生にとっては先の話という感じの人が多かったのかもしれませんが、10月には、今回以上にイベントの情宣活動を強化して倍の人数を期待したいと思います。
⑦サービス	H21卒業 H23修了	私が学生だった頃（約10年前）と比べて就活に対する姿勢はあまり変わっていないと感じた。比較的明確なビジョンがあり、どういう仕事がしたいのかという希望や就活にあたって不安も話してくれた。	講師間の交流もあり、良かった。
⑧教員	—	教育には、全部で6名の学生が相談に来ました。大学院生、大学4年生、3年生でした。教員になることを心に決めているという感じではなく、教員も視野に入れつつ、教員の仕事について自分は向いているかどうか分からない、ということから相談に来たという学生もいました。教員採用試験に向けての研修会を実施しているので、その案内書なども配布しました。神奈川県採用試験を受験しようとしている学生には、神奈川県で教員をしていたK氏がいたので、相談に来た学生の疑問点をかなり具体的に解説してあげられたので、喜んで帰っていきました。	午後1時の会の開始の時には、学生が少ないなど感じていましたが、70人を超える学生が相談に来ていたことを聞き、良かったと安どしました。いい雰囲気、学生たちが先輩に相談しているという様子が見られました。とてもよかったですと思います。年に2回実施していく計画ですが、だんだん参加者が増えていくのではないかと見通しが立つと思われました。学生に、このような相談会があることを知らしめることが重要だと思いますが、相談者が増えればそれなりに大変になると思いますが、運営サイドも回を重ねながら改善していくことができるので、頑張っ続けていっていただきたいと思っています。
⑨キャリア カウンセ ラー	—	相談に来た学生は、11人でした。 【内訳】 ・3年生 6人 (M3、F3) ・4年生 1人 (F1) ・M1 2人 (M1) ・M2 2人 (M1、F1)	—
⑨キャリア カウンセ ラー	—	最初の各人あいさつのところで、「私は毎日就職課にいるので他の先輩を優先してね」と言ったこともあり、私のところにはあまり来ないだろうと思っていましたが、結果は、T氏=8名、K氏=11名と予想外?に相談を受けました。相談内容を聞いて、「なるほど」と理由が分かりました。つまり、いろんな先輩と話したいのだけれど、方向性が決まってないのでどこに行って、何を聴いたらいいかも分からないというニーズを捨てていました。今後も「なんでも相談コーナー」は必要そうです。	—

令和元年(2019年)

# 暑中お見舞い申し上げます

一般社団法人 茗溪会

<p>一般社団法人 茗溪会 理事長</p> <p><b>江田昌佑</b> (昭和30年卒教大体)</p> <p>〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 副理事長</p> <p><b>井口武雄</b> (昭和40年卒東京教育大学法政) 三井住友海上火災保険(株)</p> <p>〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 TEL 03-3259-3111</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 副理事長 日本体育大学 教授</p> <p>教育学博士 <b>阿江通良</b> (昭和48年卒教大体育)</p> <p>日本体育大学 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 TEL 03-5706-0826 E-mail:ae@nittai.ac.jp</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 常務理事</p> <p><b>高野力</b> (昭和48年卒木工)</p> <p>〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136</p>	<p>一般財団法人 筑波学都資金財団</p> <p>理事長 <b>田中正造</b> (昭和36年卒教大健)</p> <p>〒305-0005 つくば市天久保1-13-5 TEL 029-851-5152</p>	<p>学校法人 茗溪学園 茗溪学園中学校高等学校 国際バカロレアDPコーススタート</p> <p>理事長 <b>中川喜久治</b> 校長 <b>田代淳一</b> (昭和59年筑波大修士教育研究科・理科)</p> <p>〒305-8502 つくば市稲荷前1-1 TEL 029-851-6611</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 事務局</p> <p>常務理事 事務局長 <b>矢野正人</b> (昭和53年卒院修農)</p> <p>大塚事務所長 <b>室岡和彦</b> (昭和44年卒教大数)(平成1年卒筑修教)</p> <p>筑波事務所長 <b>立山雅博</b></p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 株式会社 ユーハイム</p> <p>代表取締役 会長 <b>河本武</b> (昭和37年卒体育学部健康学科)</p> <p>〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-2-9</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学特命教授</p> <p><b>新井達郎</b> (昭和56年修筑博化)</p> <p>〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 理事</p> <p><b>鵜沢力</b> (昭和63年卒筑一社会)</p> <p>〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事 福岡経営労務事務所</p> <p>所長 社会保険労務士 <b>福岡一雄</b> (昭和32年卒教大法政)</p> <p>〒125-0042 東京都葛飾区金町3-27-3 TEL 047-361-2618 FAX 047-361-2643</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 理事</p> <p><b>川田孝一</b> (昭和39年卒総農)</p> <p>産業人倶楽部の第1回「就活相談会」は122名の参加者があり好評でした。第2回は10月16日を予定しています。</p> <p>〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 東京茗溪会 tokyo@meikei.or.jp</p> <p>会長 <b>高橋基之</b> (昭和53年卒筑一自)</p> <p>・総会 12/1(日)13:00~ ・茗溪・筑波産業人会 毎月第3水曜日19:00~ (8月、12月は休み) ともに茗溪会館で開催</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 長野県支部</p> <p>支部長 <b>北村桂一</b> (昭和59年卒筑体)</p> <p>事務局長 <b>北野亨</b> (昭和56年卒筑体)</p> <p>〒390-8605 松本市蟻ヶ崎1-1-54 長野県松本蟻ヶ崎高等学校内</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 新潟茗溪会</p> <p>会長 <b>中島郁雄</b> (昭和53年卒筑体)(昭和55年卒筑修体)</p> <p>事務局長 <b>夏見康彦</b> (平成2年卒筑三情報)</p> <p>〒959-0133 燕市新堀2118-1</p>
<p>一般社団法人 茗溪会 奈良茗溪会</p> <p>会長 <b>谷垣康</b> (昭和53年卒筑一人文)</p> <p>事務局長 <b>井上徳之</b> (昭和58年卒筑一自)</p> <p>〒639-1023 大和郡山小南町488-17</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 徳島茗溪会</p> <p>会長 <b>小原史明</b> (昭和59年卒筑二農)</p> <p>事務局長 <b>池淵茂</b> (昭和58年卒筑二比文)</p> <p>〒770-0003 徳島市北田宮1-8-68 教育会館内</p>	<p>一般社団法人 茗溪会 福岡茗溪会</p> <p>支部長 <b>永沼真紀</b> (昭和57年卒筑体)</p> <p>幹事長 <b>稲富勉</b> (昭和61年卒筑体)</p> <p>今年度予定：12月若手の会 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4 福岡県体育協会内(担当：片山)</p>

# 筑波大学は今

## スイス陸上女子リレーチームが本学で事前合宿を実施

5月3日～9日、本学において、スイス陸上女子選手団（4×400mリレーチーム）が「IAAF世界リレー2019横浜大会」に向けた事前合宿を行いました。この合宿は、スイスオリンピック協会と本学、茨城県、つくば市による基本合意によって実施されたものです。本学は、陸上競技場の使用や、運動栄養学研究室によるアスリート向けの食事提供など、多方面からきめ細かい対応をしました。また、有志学生が練習や移動時のサポートをしたり、浅草や銀座を観光案内するなど、積極的な交流も行われました。選手団は、授業や部活動が並行して行われる中で、陸上競技部の協力のもと、順調に練習と調整を進め、同大会では、7位という好成績を収めました。



## 学長と全代会構成員との「茶話会」を開催

6月13日、学長と全学学類・専門学群代表者会議（全代会）構成員の茶話会を開催しました。

この茶話会は、毎年5月に全代会構成員が新メンバーとなることから、新構成員が策定した活動方針を学長や副学長等の関係教職員へ説明し、また、懇談を行う場として例年実施しているもので、今回は学生約60名、教職員41名が出席しました。

## 永田学長およびベントン副学長、本学代表团がハンブルグ大学を訪問

5月9日、永田恭介学長およびベントン・キャロライン副学長（国際担当）をはじめとする本学代表团が、ドイツ・ハンブルグ大学の100周年記念式典への参加に合わせて同大学を訪問しました。代表团はジャン・ルイス研究担当副学長および国際部長と会談を行い、各分野における今後の更なる連携について、具体的な意見交換を行いました。

また、昨年10月の全学協定締結を経て、一層の共同研究促進のため、ナノサイエンス、計算光科学、障害科学、仏教学の各分野において両学合同でワークショップおよび共同研究の打ち合わせを実施し活発な議論を交わすとともに、関係する研究機関等への訪問を行いました。昨年の全学協定締結時にはハンブルグ大学からデイーター・レンツェン学長をはじめとする代表团が来訪し、共同研究の可能性を模索するべく、本学の各分野を代表する複数の教員による研究内容を紹介するプレゼンテーションを実施しています。

今回の訪問を通して、両大学間交流の更なる深化・拡大が期待されます。



永田学長およびルイス副学長の意見交換の様子



## 令和元年度「筑波大学社会貢献プロジェクト」開始

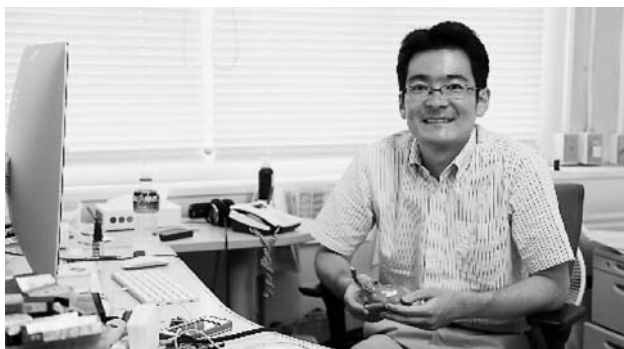
「筑波大学社会貢献プロジェクト」は、社会との多様な形での連携活動を、学内公募により、総合的に支援するもので、平成16年度にスタートしました。特定の分野に限定することなく、地域との連携活動を自由に提案できるのが特徴で、たくさんの方が参加しています。

今年度は、33のプロジェクトが活動しています。「科学振興」、「国際」、「環境」、「文化・地域活性化」、「健康・医療・福祉」等のカテゴリーで、幅広い学問分野を持つ本学ならではの取り組みを展開していきます。

## 平成31年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞

システム情報系の合原一究助教が、平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞しました。この賞は、萌芽的、独創的な研究など、高度な研究開発能力を示す顕著な業績を収めた若手研究者に与えられるものです。

受賞対象となったのは、「野生動物の行動ダイナミクスの数理的・実験的研究」です。合原助教は、集団におけるカエルの鳴き方のパターンや、コウモリの捕食行動のメカニズムなど、動物の行動を数理モデルで再現し、その原理を数理と実験の両面から解析する研究に取り組んでいます。生物学、情報学、物理学が融合した、ユニークな着眼と成果が評価されました。



茗溪会 つくば地区 公開講座

2019年6月29日(土) 茗溪学園

## 「つくばとオリンピック」

「いだてんから2020年まで」

筑波大学体育系教授

真田 久 (茗溪会理事)



### ◇スポーツ史考証に関わって

平成から令和に移り変わった本年、大河ドラマにおいて日本のオリンピック・ムーブメントの歩みを取り上げられています。日本人最初のオリンピック選手である金栗四三と1964年の東京オリンピック開催に尽力した田畑政治の二人が主人公です。その二人に影響を及ぼしながら、日本のスポーツの発展に寄与したのが嘉納治五郎(東京高等師範学校長)先生であることから、ドラマの舞台は大塚(茗荷谷)の東京高等師範学校の様子が描かれています。そんなことから、今年の大河ドラマはひととき興味を持たれた方が多いと思います。その大河ドラマにおいて、私はスポーツ史考証に関わっています。オリンピックの歴史と嘉納治五郎の研究を少々手がけてきたことから、一昨年の夏ごろに話を受け、考証作業が始まりました。

スポーツ史考証とは何かと言いますと、20世紀初期のオリンピック競技会の様子や、日本人のスポーツの様子を示す史料を提供したり、大方上がってきた脚本のスポーツ関係の内容に不適切さはないか、ということ調査します。もちろん私一人ではできるわけがなく、若き大林

太朗(体育系助教)氏や研究室の大学院生に手伝ってもらいながらの作業です。ドラマ班のミーティングに加わってオリンピックの歴史や嘉納治五郎の状況を様々な史料を通してチェックしたり、脚本家、プロデューサーや演じる役者と直接話し合ったりもします。当時の東京高等師範学校の制服や制帽の形やデザイン、運動部のユニフォーム、またスウェーデン体操の内容などについても尋ねられるので、大学の本学資料室には頻繁に出入りしています。大林氏は、陸上の十種競技の経験もあることから、金栗四三に抜かれるエキストラのランナーとしても登場しています。歴史考証とエキストラという両者を経験することは珍しいことだと思います。

スポーツ史や嘉納治五郎関連で私たちが提供した史料を用いてドラマが作られることもあり、その時は嬉しい気分になります。私と大林氏は、1923年の関東大震災後の復興過程で、スポーツが重要な役割を果たしたに違いない、という考えを共有していることから、関東大震災後に行われたトラックでの運動会が取り上げられたことは、新たなスポーツ史というか、新たな日本史を提供できたものと思います。

本題に入りましょう。「つくばとオリンピック」というテーマには、高等師範学校・東京高等師範学校・東京文理科大学(1872~1949年)、東京教育大学(1949~1974年)、そして筑波大学(1973年)という母校の変容の歴史全てを示しています。そこには附属学校も含まれます。そして一貫して、オリンピックに関わり続けており、これからもそうであろうという前提があります。

つくばの関係者(茗溪会)がどのようにオリンピック・ムーブメントに貢献したのか、紐解いてみたいと思います。

#### 1. 嘉納治五郎(1860~1938)

1882年に講道館柔道を創設し、1893年から高等師範学校長に就任しました。彼は1909年にクーベルタンに請われてアジア人初の国際オリンピック委員会(IOC)委員に就任します。まだオリンピックについて日本では知られていない時に、嘉納は柔道や東京高等師

範学校における実践を通して、体育・スポーツの効果について十分把握し、スポーツを通じた若者の交流が平和な社会を構築することを理解していたので、IOC委員を引き受けることにつながったものと思います。

嘉納のIOC委員就任、つまりオリンピック・ムーブメントへの関わりへの決断により、日本スポーツ界が世界への挑戦を始めることになったのです。第5回オリンピック競技大会(ストックホルム)に選手2名を連れて参加しました。彼は大日本体育協会(現在の日本スポーツ協会)を設立してスポーツ界のネットワークを構築し、遂には東京オリンピックの開催を目指すことになったのです。大河ドラマでも二人の主人公に大きな影響を与えた人物として描かれています。

#### 2. 金栗四三(1891~1984年)

熊本県で生まれ、高等小学校時代に往復10km以上の距離を走って通学したことで、足の速い青年に育ち、1910年に東京高等師範学校に入学しました。入学当初は体育に興味はさほどなく、地理歴史に入学したのですが、嘉納校長により、毎年2回行われた校内長距離走大会で頭角を現し、徒歩部に入部し、1911年11月のオリンピック選考会で世界記録を樹立、初のオリンピック選手に選ばれました。彼はその後オリンピック代表選手に1924年のパリ大会まで選ばれ続けますが、選手としてのみではなく、マラソンの普及、女子体育の振興にも尽力しました。恩師嘉納治五郎の構想を実現した人物と言えます。中でも1920年に始めた箱根駅伝は、その後の長距離走の普及に大きく貢献しました。金栗が最初に校内長距離走大会で優勝した時、皆と一緒に走ることが理想であると述べています。

#### 3. 杉村陽太郎(1884~1939年)

1930年代に入り、オリンピック競技会でも優勝者が出てくると東京市は東京オリンピック招致を考えていきます。嘉納や岸清一などとともに、1940年の東京開催を目指します。その招致に大きく貢献したのが東京高等師範学校附属中学校出身の杉村陽太郎です。彼は東

京帝大を卒業すると外務省に入り、外交官になります。その一方で、講道館柔道に早くから入門し、嘉納塾にも入るなど、嘉納治五郎の弟子になりました。外交官としてパリやローマに赴任していた時にも、休日には道場に出かけて柔道の人々に教えていました。そんな杉村が嘉納の思いを受け、東京開催の最大のライバル、ローマ市の立候補取り下げをイタリアの首相に直談判します。それが成功したことで、東京への流れができたのです。1936年に1940年の東京開催が決まりますが、残念ながら嘉納治五郎の逝去2ヶ月後に、日中戦争の長期化を理由に政府と東京市は返上してしまうのです。

#### 4. 平沢和重 (1909～1977年)

第二次世界大戦が終わるとスポーツ界は国際社会に徐々に復帰します。その中で、再び東京でのオリンピック開催を目指す動きが出てきます。1964年のオリンピック開催地を決定するIOC総会がミュンヘンで開かれますが、そこで東京の最終プレゼンを行った人物がジャーナリストの平沢和重です。平沢は、IOC総会の2週間前に選ばれたのですが、小学校6年生の国語の教科書を取り出し、「五輪の旗」というエッセイの一文を朗読し、日本ではオリンピックの理念について学んでおり、開催の準備は整っていると訴えました。

実はこの平沢、嘉納治五郎とともにバンクーバーから氷川丸に乗船し、嘉納の最期を看取った人物でした。外交官であった当時、氷川丸で毎晩東京オリンピックの話を開き、横浜到着の2日前に嘉納を看取った平沢は、「心から東京オリンピックの成功を祈らざるを得ない」「世界をあつと言わせるオリンピックであつてほしい」と書き残しました。ミュンヘン総会の投票では東京が圧勝しますが、平沢は多くのIOC委員が嘉納先生を覚えていてくれたからだと言っています。平沢は、それ以降IOC委員として活躍、柔道をオリンピック種目に入れる際にも尽力しました。

#### 5. 小野喬 (1931年～)、小野清子夫妻

アジア初開催となる第18回オリンピック競技大会が、

1964年10月10日に開会されました。開会式で選手を代表して選手宣誓を行ったのが小野喬氏でした。彼は東京教育大学体育学部を卒業し、体操競技に出場、「小野に鉄棒」と言われた名手で、団体前で前回のローマ大会に続き連覇を果たしました。奥様の小野清子氏も同窓の体操選手で、団体女子で銅メダルを獲得しました。大会後、小野夫妻は日本で初となるスポーツクラブ（池上スポーツ普及クラブ）を設立し、後進の育成と市民スポーツの普及に貢献しました。

#### 6. 加藤澤男 (1946年～)

1968メキシコ、1972ミュンヘン、1976モントリオール大会において体操競技で活躍し、金メダル8個を獲得しました。個人総合でも2連覇し、国際スポーツ記者協会による「20世紀のベストアスリート25人の選手」に日本人としてただ一人、選ばれました。その演技は足のつま先まで伸びていて美しく、「体操の教科書」と言われました。加藤氏は母校筑波大学の教授（現名誉教授）として、運動学の研究にも勤めました。1993年から2012年まで国際体操連盟技術委員として採点規則の改正などに取り組みました。2001年、国際体操連盟殿堂入りしました。

#### 7. メダリスト博士

・谷本歩実…2004年筑波大学体育専門学群卒業後、コマツに入社し柔道を続け、アテネ2004、および北京2008の両大会で全ての試合を一本で勝ち進み、金メダルを獲得しました。嘉納先生の目指す理想的な柔道是一本柔道にあると考え、それをオリンピックの大舞台で実現したのでした。現役引退後はコーチとして活躍するとともに、弘前大学大学院に進み、博士（医学）を取得しました。つくばから金メダリスト博士が誕生したのでした。

・戸邊直人…筑波大学大学院コーチング学専攻修了。博士（スポーツコーチ学）。ドイツで行われた2019年世界室内ツアーにおいて、走り高跳びで2m35の日本新記録を出し日本人として初優勝しました。6月、国際陸連

主催の大会でも2位になるなど、好調です。彼は、両腕ではなく、片腕を上げて踏み切るフォームに変更し、体が浮き上がる癖を修正しました。「走高跳のパフォーマンス決定に関わる技術要因の検討」という博士論文の成果が現れたのでした。練習と研究をバランスよく行うことで、東京2020大会では2m40を跳び、表彰台を目指しています。

#### 8. 星出彰彦

茗溪学園出身で、JAXAで活躍する宇宙飛行士です。2008年、さらに2012年には、国際宇宙ステーション(ISS)に4か月滞在し、3回の船外活動などを行いました。また、2020年5月より半年間、ISSに行き、船長として活躍します。宇宙からガンダムが東京2020大会を応援するプロジェクトにも関わっていることから、宇宙と東京2020大会をつなぐ役割を果たすことでしょう。

#### まとめ

東京高等師範学校から始められた国際スポーツ界への挑戦は、つくばの地にも受け継がれています。アスリートのより高いパフォーマンスを引き出すために、本人の努力はもちろんですが、スポーツ科学の成果が注がれてきました。メダリストが博士号を取得することがつくばでは、当たり前のようになりつつあります。スポーツを科学するという意味では、日本はもちろん、国際的にも大きく貢献していると言えるでしょう。その一方で、オリンピック競技大会の日本への招致活動やオリンピック・パラリンピック教育の実践に示されるように、オリンピック・ムーブメントの促進にも貢献してきました。つくば国際スポーツアカデミー(TIAS)では、海外の優秀な学生を受け入れ、つくばの地でオリンピックや嘉納治五郎の理念、さらにはスポーツマネジメントやスポーツ科学を学び、全世界に飛び立っています。東京2020大会後には、つくばから世界に貢献する人材が続々輩出されるに違いありません。

# 茗溪・東西南北

## 香川茗溪会 平成30年度総会

香川茗溪会では、例年11月初旬に総会・懇親会を実施しております。

平成30年度総会は、11月10日(土)に、45名の参加者のもと、高松市にあるリーガホテルエスト高松において開催されました。山本主税支部会長(平成元年卒)の挨拶により開会され、原田俊氏(昭和46年卒)の叙勲受章披露があり、高井信一氏・大林誠二氏への退職者花束贈呈(共に昭和55年卒)と、香川茗溪会を長年引つ張ってこられた3名の先輩方からお話しをいただきました。

懇親会は石川俊夫氏(昭和19年卒)による乾杯のご発声のもと始まりました。歓談を進めていきながら、新入会員紹介として6名の方から自己紹介をいただきました。また豪華景品獲得を目指した抽選会もあり、会は大いに盛り上がりました。会の締めは塩井敏治氏(昭和29年卒)にお言葉をいただきました。最後に、出席者全員で輪になり肩を組み、宣揚歌「桐の葉」を歌いました。毎年世代を超えて出席者全員で「桐の葉」を歌い会が閉じられるこの時は、参加者全員が大学を思い出し、感慨深い時になっております。

香川茗溪会の課題としては、数多くいる会員同士のつながりを創っていくことが挙げられます。総会・懇親会は、世代を超えてつながる良いきっかけだと思います。教職に就かれている会員の方には案内を出せていますが、民間企業に就職されている方への連絡が上手く取れていない現状です。平成30年度の総会では45名の参加者の内、教職以外の会員は3名でした。会の中で話していくと、



香川にも多くの民間企業で働いている卒業生がいらっしゃるといふことです。また教職に就かれている方も、職務の都合で出席できず、なかなかお会いできていない方もいます。

一年に一度の集まる機会ですが、是非多くの会員の方で集まり、世代を超え、職種を超え、より有意義なものにできたらと考えております。

令和元年度総会もよろしくお願いいたします。

## 茗溪会群馬支部 平成30年度総会

平成30年度茗溪会群馬支部総会は、6月30日(土)に高崎市にあるホテルメトロポリタン高崎において開催されました。

来賓には一般社団法人茗溪会高野力事務局長をお迎えし、茗溪会の歴史や現状・本部の動向等についてお話しいただきました。

27名が出席した総会は、坂田和文支部長(前橋商業高校校長)を議長とし、はじめに事務局より平成29年度会務報告、会計報告、監査報告が行われ承認されました。引き続き、平成30年度の役員、会務計画、収支見通しが承認されました。

総会終了後は、懇親会が開かれました。34名が参加した懇親会では大学時代にしばし戻り、世代を超えて話の輪が広がりました。特に今回は、若手の参加者を中心に自己紹介を行い、大いに盛り上がりました。最後は笠原恵太前橋商業高校教諭の発声で宣揚歌を高らかに歌い全員が輪となって団結心を高め閉会しました。

なお、令和元年度の支部総会は6月29日(土)午後3時から、懇親会は午後4時からホテルメトロポリタン高崎において開催されます。

ほかに開催された平成30年度の会合としては、6月14日(木)に県庁茗溪会(県庁に勤務する方を中心とした集い)が、9月8日(土)に群馬茗溪会がともに前橋市内で



行われました。さらに、平成31年1月26日(土)に東毛地区茗溪会懇親会(群馬県東部の在勤・在住者を中心とした集い)が桐生市内(開催地は桐生市・館林市・太田市で、当該市にある各高校が三年周期の輪番で担当)で、同年2月16日(土)に群馬県駒場会が前橋市内でそれぞれ行われました。

こうした会合では、世代を超えた交流がはかられ、様々な立場、職業の方々との歓談により、貴重な時間を過ごすことができいております。大学や大学院を終えたばかりという若い世代の参加者は、会合を大いに盛り上げておりますので、今後も参加者の勧誘を継続していきたいと考えております。

結びに茗溪会のますますの発展をお祈り申し上げますとともに、茗溪会群馬支部の活動にご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**地域茗溪会の今年度の総会・講演会(実施・予定)**

山梨	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	福島	山形	秋田	宮城	岩手	青森	北海道	筑波大	地域名
7月20日	7月27日	12月1日	7月7日	未定	6月29日	7月6日	6月30日	7月7日	11月下旬	7月予定	11月23日	1月5日	8月下旬	未定	7月5日	月日
鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	岐阜	愛知	静岡	福井	石川	富山	新潟	長野	地域名
7月13日	7月15日	7月6日	6月予定	6月8日	11月予定	6月22日	6月29日	10月以降	7月13日	6月29日	2月1日	未定	7月6日	7月6日	6月23日	月日
沖縄	鹿児島	宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	山口	広島	岡山	島根	地域名
6月22日	7月予定	未定	未定	6月予定	6月22日	未定	7月6日	未定	7月7日	11月中旬	7月上旬	10月12日	未定	未定	未定	月日

◆東京教育大学・筑波大学アーチェリー部創立60周年を祝う会

とき 2018年11月17日(土)

ところ アリス アクア ガーデン 東京 丸の内

アーチェリー部は、東京教育大高柳憲昭先輩達が、弓道部から洋弓を独立し創部、昭和53年筑波大学へ引き継がれ昨年60周年を迎えました。OB・OGと現役、交流校から来賓を迎えて54名が参加。部の歴史や現役の活動などが報告され、大いに思い出話に花が咲き、部の益々の発展を祈念して和やかなうちに閉会しました。

(文責 OB・OG会「駒場クラブ」下河原(古島)理江子)



◆高野先生叙勲お祝い 昭和42年入学心理学科クラス会

とき 2019年4月4日(木)

ところ 池袋美濃吉にて

8名出席で高野先生の叙勲のお祝いいたしました。皆さん楽しい一時を過ごすことが出来、寿命が延びた気がするとのお言葉をいただきました。

(文責：鶴間満生)



◆江崎グリコ 筑波大学OBOG歓迎宴会

とき 2019年4月16日(木)

ところ 焼鶏屋 勝商店(東梅田)

弊社では同窓の新入社員を有志で歓迎する伝統があります(平成最後の主賓は新人の和田純麗さん(後列女性 人間学類)と定年の鈴木伸さん(後列最左 農林学類58年卒))。弊社の拠点は国内外にありますが、開催連絡があれば有志が集まります。筑波大学という共通の話題のもと、年代も役職も超えて大いに盛り上がり、懇親を図っています。

(文責：鹿谷英弘)





◆昭和56年3月卒業人文学類日本史コース同期会

と き 2019年4月20日(土)  
 ところ 筑波大学

還暦を過ぎた同期生16名のうち9名が参加。9名全員が中学校・高等学校社会科教諭、大学歴史学教員の道を歩み、今なお現役の者もおります。近況報告会のあと、第一学群棟・体育芸術学群棟、平砂・追越学生宿舎を経て、松見公園まで元気に散策。懇親会は40年前の青春話で大いに盛り上がりました。

(写真・文責：伊藤純郎)



◆東京教育大学体育学部昭和33年卒同期会

と き 2019年5月20日(月)  
 ところ 「栄寿司」新宿西口

“やあ”“おう”の声があちらこちらで聞えてくる。直ぐ昔に帰れるようだ。“この楽しい一時”、あと何年続くのだろうか、来年も楽しみだ。

(写真：渡辺悦男 文：渡部岑生)



◆三六会(昭和36年卒東京教育大学農学部林学科)

と き 令和元年6月21日(金)  
 ところ 銀座アスター渋谷店

現存者21名の内、11名出席のもと開催。全員80歳を越えましたが、元気で頑張っています。近況報告の後、「桐の葉」を合唱して閉会しました。

(幹事：田村正義)



◆山紫会(東京教育大学 文学部 東洋史専攻

昭和34年入学者の会)

と き 令和元年6月23日(日)~24日(月)

ところ 天徳院(東京都中野区)・占春園・茗溪会館

還暦後、毎年開いているクラス会も今年が21回目です。恩師中嶋敏先生の13回忌の法要が天徳院で大藪正哉住職(35院修東史 筑波大学名誉教授)を導師に執り行われるので、9名が参列しました。その日は御茶ノ水の「東京ガーデン パレス」に泊り、翌日は「湯島聖堂」を訪れ、ついで整備された「占春園」を訪ね「茗溪会館」で昼食後、解散しました。来年は長野県で開催予定です。

(写真：柴崎正行 文：高原 将)



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せください。

(写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれかで撮影したもので結構です。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても結構です。

(文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31文字×5行以内でお願い致します。

# 茗溪学園だより

## アジア高校生学術交流会開催

海外の高校生とアカデミックな交流を行うことで、アジアにおける日本の高校生の位置づけの現実を認識させ、本校生徒の学習意欲・意識の向上を図ることを第1の目的に掲げて、この学術交流会の開催を決定しました。

この会に参加した海外高校生は、台湾、香港、ベトナム、タイからの短期留学で本校に滞在している55名、本校からは、IB課程生徒と高校2年EEC（英語習熟度別上位クラス）生徒ら64名でした。他に特別ゲストとして、ベトナム・ハノイ外国語大学日本語文化学部講師タン先生、タイ・シーナカリンウィロット大学付属バトゥムワン高校教務主任デュアンチャイ先生、タイ・チュラーロンコーン大学付属高校ポンプロム校長先生他2名の先生方が来校し参加してくださいました。

交流会は7月1日、本校アゴラホール他で開催されました。8時45分オープニングセレモニーが始まり、その後、特別授業、昼食交流、午後から口頭・ポスター発表、懇親会と進み午後5時に終了しました。

特別授業は、化学実験、物理実験、メディアリテラシー、5か国の歴史教科書を使った学習（ポスター作製と



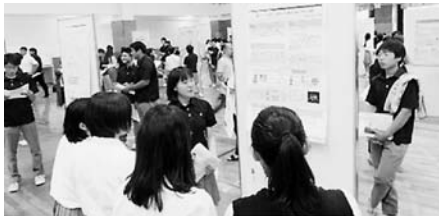
オープニングのようす



台湾「台中女子高級中学」からは最も多い35名が来校。（本校食堂横日本庭園前で）



多くの人で熱気あふれる会場。同時に86研究、全体では252研究が発表された



発表のようす。写真手前の研究テーマ「SNSにおける広告に対する高校生の行動に関する調査」

プレゼン）の4授業が、本校教員によって行われました。発表は、台湾の生徒による口頭発表、本校と香港からの生徒がポスター発表を行いました。オープニングセレモニー、授業、発表などすべて英語でしたが、参加者は楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。なお翌日、筑波大学より招待され、筑波大学訪問をすることもできました。

## 個人課題研究中間発表会

表記発表会は6月25日、本校体育館で開催されました。これは本校の必修科目（SSH活動でもある）「個人課題研究」について、進捗状況を確認し、ポスター作成や発表経験を積ませる機会として、高校2年生全員に課しているものです。

発表は午後1時～2時30分、86枚の掲示用ボードを使い、研究分野を10分野（人文科学、社会科学、国際関係、生活科学、芸術、スポーツ科学、数学・情報、物理・地学、生物・化学、医療系）に分類し、30分ずつ3回に分けての発表です。発表者数は292名（IB課程生徒を除く）でした。

会場には、発表者（高2）と研究テーマ模索中の高校1年生合わせて50名と、一般の方、SSH校の先生方、保護者など多くの来場者がありました。発表者にとって、さまざまな質問に答えることが一番大変なことですが、

質問対策メモ書きなどを確認しながら懸命に説明をしていました。

## 世界の舞台で発表

本校生徒2名の個人課題研究が、国内発表会を通過し、国際舞台での発表となりました。

一人目（現高校3年女子）のテーマは「四つ葉のクロバーを発生させる条件とは」でした。土の条件や植物ホルモンに着目して五千本ものクロバーを栽培する実験を行い、その成果を「第16回高校生科学技術チャレンジ（JSECC）」で発表したところ、「科学技術振興機構賞」（全国第3位）を受賞しました。そして、5月に米国アリゾナ州フェニックスで開催された「インテル国際科学技術フェア（ISEF）」に招待され、立派に発表をさせていただきました。

もう一人（現高校3年男子）のテーマは「線虫の紫外線学習の発見と神経伝達メカニズムの解明」でした。江崎玲於奈博士主催の全国高校生科学コンクールである「つくばサイエンスエッジ2019」で、最優秀に当たる「創意工夫賞」を受賞しました。そして、7月末にシンガポールで行われる「グローバルリンク・シンガポール」に参加し発表することになりました。

この二人は共に寮生活をしています。寮の生活時間制があるので、研究に充てる時間が制限されることもありましたが、しかし、上手に時間を作り、実験を重ねてきた努力が報われ素晴らしい成果となりました。晴れ舞台での発表経験や国際交流を通して、さらに大きく飛躍していった欲しいと思います。

## 部活動など結果報告 （4月～6月）

【高校関東大会出場部活・6月開催】ラグビー部、剣道部男女、バドミントン部男女、体操部男女、テニス部女、柔道部女（以上6部活）

【高校全国大会】インターハイ出場（8月南九州開催）バドミントン部男団体（9年ぶり3回目）・個人、体操部個人男1名・女2名、テニス部女シングルス（以上3部活）、ラグビー部第6回全国7人制大会出場（県大会優勝、6年連続6回目・7月菅平高原開催）

## 追悼録 (敬称略)

浅田 隆夫	筑波大学名誉教授 東京	2019. 2. 13	子 浅田 安彦
高村 雄治	筑波大学名誉教授 東京	2018. 11. 23	妻 高村 節子
平 不二夫	筑波大学名誉教授 茨城	2018. 12. 10	妻 平 佳子
田中 禮三	16 文二 兵庫	2019. 2. 2	次女 田邊恵美子
森岡 信一	22 臨物象 徳島	2018. 10. 24	長男 森岡振一郎
青木 篤良	22 体専 新潟	2019. 3. 20	妻 青木 カズ
榎瀬 邦夫	22 農教 東京	2019. 1. 24	長男 榎瀬 生男
高橋 一夫	23 文二 愛知	2019. 4. 14	息子 高橋 克年
野々村 淳	24 文四 島根	2019. 4. 12	長男 野々村 卓
小谷 秀孝	24 体 東京	2019. 5. 15	妻 小谷 勝美
中澤 次郎	25 文三 東京	2019. 5. 2	長女 中澤 ルミ
鈴木 公明	25 理一 神奈川	2019. 2. 4	妻 鈴木 里子
饗庭 三泰	26 農教 東京	2019. 1. 24	妻 饗庭きぬ子
大谷 昭五	27 文二 埼玉	2019. 3. 10	妻 大谷 京子
小倉 瞭二	27 理二 東京	2019. 5. 21	次男 小倉 康朗
伊藤 章一	27 体専 岩手	2017. 4. 6	長男 伊藤 龍二
元 和臣	28 教大体 東京	2019. 1. 31	妻 元 厚子
小倉 孝夫	29 教大農化 福島	2019. 4. 18	妻 小倉 麗子
岸田 博	29 教大健 東京	2018. 11. 30	長女 葛葉 総子

## 逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・地域・続き柄・遺族氏名

臺 幸夫	30 教大西史 埼玉	2018. 11. 6	次女 織田由紀子
椎名 正行	30 教大農工 新潟	2018. 5. 29	長男 椎名 克行
須藤 健児	30 教大体 東京	2019. 2. 14	妻 須藤さち子
日野 永一	33 教大工芸 東京	2019. 2. 8	妻 日野 叡子
宮崎 満彦	34 教大体 岐阜	2017. 11. 7	妻 宮崎 紀子
菅野 禮至	35 教大総農 千葉	2019. 4. 27	長男 菅野 裕光
高木 太吉	35 教大体 福岡	2019. 5. 7	妻 高木 静代
桜沢 仁志	36 教大経 京都	2019. 4. 6	妻 桜沢 愛子
福本 尚一	36 教大植 埼玉	2019. 3. 22	妻 福本 嘉子
花岡 愛夫	38 教大哲 埼玉	2017. 6. 15	妻 花岡 友枝
齋藤 孝	38 教大心 愛知	2019. 1. 4	妻 齋藤 貞代
猪熊 啓司	39 教大西史 長野	2019. 3. 26	妻 猪熊佐智子
加藤 征	39 教大健 東京	2019. 3. 24	妻 加藤 洋子
池岡 靖則	40 教大國 鳥取	2018. 12. 12	妻 池岡 道子
上條 俊一	41 教大数 長野	2018. 11. 6	妻 上條 雅子
瀬能 誠之	41 教大総農 東京	2019. 2. 2	妻 瀬能けい子
渡邊 洋人	59 筑三社工 愛媛	2019. 2. 18	妻 渡邊 孝子
宮本久美子	61 筑一自 東京	2018. 6. 3	夫 宮本 眞一



Service Safety Sincerity  
あなたのそばに。セキショウグループ。

# SEKISHO

Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。



## 関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹 (学校法人 若溪学園理事)

つくば本部 / 茨城県つくば市ニの宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当: 取締役常務執行役員 岡本 俊一  
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>

安全に、快適に、正確に  
**OZONE** 大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料  
☆カード利用 OK!  
☆貸切バス事業者より  
安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tasukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

# 令和元年春の叙勲

おめでと〜うございませ〜す(敬称略)

## 瑞宝中綬章

田中 誠一 33教大体 (静岡)  
高木 俊輔 37教大日史・54院博日史 (東京)

## 瑞宝小綬章

酒井 義人 31教大西史 (大阪)  
池原耕太郎 35教大教 (北海道)  
熊沢 茂 45教大農工・47院修農工 (神奈川)  
吉澤 勝 46教大数 (埼玉)  
佐久 信雄 46教大武 (長野)  
星 勉 46教大数 (新潟)  
信澤 照雄 47教大数・51院修応数 (群馬)  
桑野 正光 50研 (栃木)  
瑞宝双光章  
加藤 正喜 30教大健 (東京)  
神原 彰夫 39教大体 (栃木)  
高木 正皓 46教大武 (兵庫)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

## 訂正

前号(平成31年春号)で誤りがありましたのでお詫言して訂正いたします。

・P2 グラビア「平成30年度茗溪会賞芸術部門受賞者」

大井真希さんの推薦者

(正) 斎藤敏寿先生

(誤) 齋藤敏先生

・P5〜7 「茗溪会賞受賞者紹介(大学院)」研究科名  
P9 受賞者一覧表「研究科」

(正) 人間総合科学研究科

(誤) 人間総合研究科

・P8 中段「受賞者紹介(芸術部門)」●臨 古筆手鑑

「かりがね帖」5行目

(正) 卒業制作

(誤) 卒業製作

・P9 下表表題

(正) 平成30年度 茗溪会賞(芸術部門) 受賞者

(誤) 平成30年度 茗溪会賞(芸術部門) 候補者

・P18 「茗溪・東西南北」上段1箇所、中段2箇所

(正) 嘉納治五郎

(誤) 加納治五郎

## 広報

### 表紙の言葉

熊本茗溪会 田口智之

熊本地震の本震から3年が経ちました。熊本地震からの熊本地震復興を物語るのは何といっても天守です。熊本城大天守の真新しい外観が姿を見せ、着実に熊本地震前の姿に戻りつつあります。被害を受けた大天守の石垣は、崩落した石も含め約790個の積み直しが必要となりました。2018年7月下旬から積み直しが始まり、9月上旬までに107個が積み直しが完了。2019年から小天守の石垣工事が始まっています。現在は、10月5日から10月14日に予定されている「熊本城大天守外観復旧記念週間」での特別公開に間に合うように、大天守の復旧が進行中。天守内に入れるようになるにはさらに期間を要し2021年春頃の予定です。目に見えて進む熊本城の復興は、「熊本城復旧基本計画」に基づいて最優先で天守の復旧工事が進められています。また、「100年先を見据えた復元の礎づくり」という項目もあり、現在進められている復旧工事は、「熊本地震前」に戻すだけでなく、江戸時代に描かれていた熊本城を指しているのです。現存する絵図や古写真を基に、幕末の熊本城を目指すのが最終的な目標なのです。

## 編集後記

本号は、茗溪会第8回定時総会の内容と、「教育界と並ぶ産業界の太い柱」という趣旨のもと、各企業の筑波大学OB・OGが参集し、筑波大学会館で行われた、茗溪・筑波産業人倶楽部の「第1回就活相談会」の様子をお届けします。

また、現在、NHK大河ドラマで放映中の「いだてん」のスポーツ史考証をされている真田先生に、「つくばとオリンピック」と題して、オリンピックに関係した茗溪人についてお話しいただいた公開講座の内容もお届けします。茗溪人にとって、オリンピックをより身近に感じられるようになるのではないのでしょうか。

(事務局 前田)

## お願い

・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。  
・年会費のお振込みは、早めにお願ひいたします。

令和元年7月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二三

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

Email info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇二一四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

Email tsujimnu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

一筑波大学の知の発信—  
筑波大学出版会  
http://www.press.tsukuba.ac.jp/

紙と電子の本をオールカラーにて刊行



サイバニクスが  
拓く未来  
テクノピアサポートの時代を  
生きたる君たちへ  
山海嘉之 著

1500円+税  
A5判 140頁  
紙 版 ISBN 978-4-904074-47-3  
発売：丸善出版株式会社  
TEL.03-3512-3256  
FAX.03-3512-3270  
https://www.maruzen-publishing.co.jp/



「科学の芽」賞  
実行委員会 編

2200円+税  
B5判 220頁  
紙 版 ISBN978-4-904074-53-4  
電子版 ISBN978-4-904074-51-0

もっと知りたい！  
「科学の芽」の世界  
PART  
6



筑波大学山岳科学センター  
菅平高原実験所 編  
町田龍一郎 監修

1950円+税  
A5判 156頁  
紙 版 ISBN978-4-904074-54-1  
電子版 ISBN978-4-904074-55-8

虫愛する人の  
虫がたり

重版決定



筑波大学  
自然保護寄附講座 編

2900円+税  
A5判 258頁  
紙 版 ISBN978-4-904074-50-3  
電子版 ISBN978-4-904074-48-0

自然保護学入門  
ひとと自然をつなぐ

株式会社 阿部兄弟建築事務所  
平成26年度東京ワークライフバランス認定企業

http://abeoffice.co.jp



〒101-0032  
東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル  
代表取締役 荒井 豊人 (昭57筑基工)  
TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント  
福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3  
TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所 長 福岡 一雄 (32教大法政)  
社会保険労務士



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信洋

URL http://www.juwa.com E-mail:travel@juwa.com  
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254  
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

株式会社 岩手チキン工房

— みんなに笑顔をお届けします。 —

代表取締役 田中 修 (昭54筑農林)  
社長

〒028-3309 岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内85-1  
TEL : 019(676)4121 FAX : 019(676)4464  
http://www.i-c-koubou.co.jp

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」  
TSUKUBA WAY プロジェクト  
～ 茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!! ～

http://tsukubaway.com/

株式会社 KTAJ  
代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡  
2004年卒)

**FXC**  
Future X Communications

FXC株式会社 https://www.fxc.jp/

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者：代表取締役社長執行役員 谷輪 重之 (93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケイエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1  
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669

株式会社 長谷工 コーポレーション  
HASEKO

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号  
電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

## つくばでの宿泊・研修に—

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,700円から(10月1日より料金改定予定)  
茗溪会員とご家族に割引あり  
研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に  
シングル145室ツイン5室和室5室/研修室2室(120・40名)  
和室も研修室として利用可(20畳、10畳)  
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

アクセス

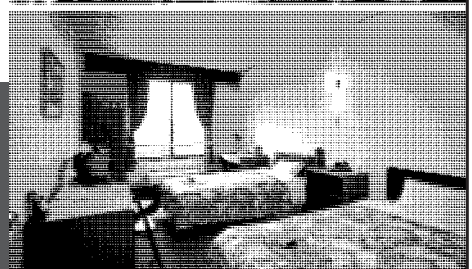
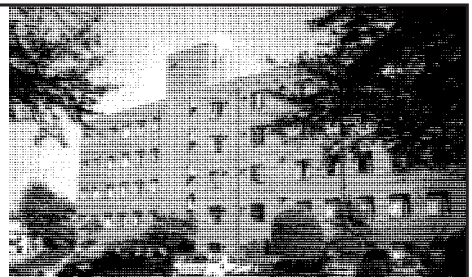
秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車  
●バス/「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車  
徒歩8分●つくば駅からタクシー/5分

一般財団法人筑波学都資金財団

**筑波研修センター**

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5  
TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

http://www.meikei.or.jp/~center e-mail:center@meikei.or.jp



# 日本一の業務用酒販会社で一緒に楽しく働きませんか？

※業務用…居酒屋、BAR、レストランなど飲食店のお客様

カクヤスは、酒類・食品等の飲食店及び一般家庭向け販売、「なんでも酒やカクヤス」を主力とする店舗運営を行っております。全国各地から多数入社しており、若手からベテランまで活気のある会社です！



圧倒的な  
配達拠点数



年中無休  
365日配達



365日24時間  
受注体制



急なご注文も  
即日配達



社員の家族も招待して乾杯する【全社懇親会】や、割安で商品を購入できる【社内販売割引制度】、年齢や部署を越えて交流できる【部活動・サークル活動】など、魅力的な制度をたくさんご用意しております。

## 国内業務用酒販売上NO.1!

(2016年調査会社調べ)

## 顧客満足度NO.1!

(首都圏飲食店2017年5月調査会社調べ)



採用担当：廣瀬（ヒロセ）



## 株式会社カクヤス

<会社概要>

本社：東京都北区豊島2-3-1  
代表取締役：佐藤 順一  
創業：1921年11月1日  
資本金：1億円

<仕事内容>

・飲食店などの業務店のルート配送  
・一般のご家庭への配送

連絡先：03-3239-8020  
(人事部 採用担当)

HPにも遊びに来てくださいね！



なんでも酒や **カクヤス**  
<http://www.kakuyasu.co.jp/>

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群  
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群  
グローバル・コミュニケーション学群  
航空・マネジメント学群(仮称)2020年4月開設予定

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士  
学長 畑山 浩昭  
入学部相談役 川田 孝一(昭39教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学インフォメーションセンター

Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



カウンセリング心理学者

國分康孝のライフワーク

# 講座 カウンセリング 心理学

國分康孝 著 國分久子 監修

四六判 112頁 ● 本体1,400円+税

『カウンセリング心理学』はまだ日本では盛んには取り上げられないが、カウンセリングの基盤として大変に重要である。それを、過去から現在に向かう時の流れと、関連領域の広がりを見つめて概説し、次代への課題を明示する。(雑誌「指導と評価」の連載を取録)

## 構成的グループエンカウンターの 理論と方法

國分康孝 著 國分久子 監修

半世紀にわたる研究の成果と継承

四六判 176頁 ● 本体1,800円+税

教育者として、そして教育カウンセラーやガイダンスカウンセラーとして、SGEがなぜ必須なのか。SGEワークショップが始まって四十数年、現在の到達点を提唱者である國分康孝の言葉で再定義する。

## カウンセリングとともに生きる 存在への勇気

國分康孝 著 國分久子 監修

四六判 216頁 ● 本体2,000円+税

カウンセリング心理学の黎明期を支えた國分康孝の功績。クライアントをたすけるだけでなく、私たちがよりよく生きるための知恵と勇気を、國分康孝自らが生き方と本で示す。(雑誌「指導と評価」、教育カウンセラー・ニューズレターの連載を取録)

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15  
http://www.toshobunka.co.jp/

図書文化

TEL. 03-3943-2511 FAX. 03-3943-2519  
ブックライナーで注文可 ☎0120-39-8899

Meikei-  
Making  
the  
Difference



Meikei  
High School

茗溪学園中学校高等学校

\* 茗溪学園は1979年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です  
今年創立40周年を迎えました

- ◆ 寮のある学校です  
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆ 国際バカロレアIBDP課程認定校です
- ◆ 文部科学省SSH・SGHアソシエイト認定校です
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」  
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です

### 2019年度公開行事

- 7月27日(土) 吹奏楽部定期演奏会  
会場：つくば市ノバホール  
17:00開演
- 9月14日(土) 高校入試説明会
- 10月16日(水) ~20日(日)  
茗溪学園美術展  
会場：つくば美術館
- 10月26日(土) 学園入試説明会  
(IBコース説明会含む)



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、  
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」  
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)